



取扱説明書

11型ワイドXGA LED液晶 ディスプレイオーディオ

DAF11Z

9型ワイドXGA LED液晶 ディスプレイオーディオ

DAF9Z

7型ワイドXGA LED液晶 ディスプレイオーディオ

DA7Z



ワイドFM



このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、本書の「安全のために必ずお読みください」(5～7ページ)を必ずお読みください。

- お使いになる前に本書をよくお読みください。
- お読みになった後も、本書を手元に置いてご使用ください。

Model: Music Halo

目次

安全のために必ずお読みください

取り付け・接続.....	5
使用方法.....	6
取り扱い上のご注意.....	7
使用上のお願い.....	7
お知らせ.....	7
お読みください.....	7
モニターのお手入れ.....	7

基本操作

各部の名称.....	9
電源のON/OFF.....	10
音量を調整する.....	10
一時的に音量を下げる(ミュート).....	10
ディスプレイやボタン照明をOFFにする (Display OFF).....	10
タッチスイッチの操作について.....	10
オーディオソースを選ぶ.....	11
リスト画面の操作.....	11
HOME画面について.....	11
インジケータ表示について.....	12

設定

設定操作.....	13
-----------	----

通信機器設定

接続機器リストを表示する.....	13
Bluetooth®機器を接続する.....	14
接続機器リストに登録している機器を接続する.....	14
接続している機器を切断する.....	14
登録している機器を削除する.....	14
Wi-Fi設定.....	15
Wi-Fiモードを設定する.....	15
Wi-Fiアクセスポイントに接続する.....	15
本機のWi-Fiパスワードを変更する.....	16
Bluetooth設定.....	17
BluetoothのON/OFFを設定する.....	17
自動接続を設定する.....	17
パスキーを変更する.....	17
自機情報を確認する.....	17

機能設定

Apple CarPlay設定.....	17
Apple CarPlayの音量を調整する.....	17
受話音量を調整する.....	18
着信音量を調整する.....	18

案内音量を調整する.....	18
音声認識の音量を調整する.....	18
送話音量を調整する.....	18
Android Auto設定.....	18
Android Autoの音量を調整する.....	18
受話音量を調整する.....	18
着信音量を調整する.....	18
案内音量を調整する.....	18
音声認識の音量を調整する.....	19
送話音量を調整する.....	19
ラジオ設定.....	19
ラジオの音量を調整する.....	19
USB設定.....	19
USB再生時の音量を調整する.....	19
USBビデオの画質を調整する.....	19
iPod設定.....	20
iPod再生時の音量を調整する.....	20
外部入力(AUX)設定.....	20
外部入力機器再生時の音量を調整する.....	20
外部接続機器を設定する.....	20
外部入力機器の画質を調整する.....	20
HDMI設定.....	21
HDMI再生時の音量を調整する.....	21
HDMI接続機器を設定する.....	21
HDMIの画質を調整する.....	21
HDMIセレクターを設定する.....	21
ハンズフリー設定.....	21
着信音量を調整する.....	21
受話音量を調整する.....	22
送話音量を調整する.....	22
履歴/電話帳自動同期を設定する.....	22
電話帳の姓名表示を設定する.....	22
通話履歴日付表示を設定する.....	22
Bluetoothオーディオ設定.....	22
Bluetoothオーディオ再生時の音量を 調整する.....	22
ドライブレコーダー設定.....	22
ドライブレコーダー接続を設定する.....	22
ドライブレコーダーの画質を調整する.....	23
カメラ設定.....	23
カメラ1(リアカメラ)を設定する.....	23
カメラ1(リアカメラ)の入力信号を設定する.....	23
カメラ2を設定する.....	23
カメラ2の入力信号を設定する.....	23
カメラインターフェースBOXを設定する.....	24
カメラガイドを調整する.....	24
カメラの画質を調整する.....	25
リバース連動ミュートを設定する.....	25

システム設定

操作音を調整する.....	26
送話エコー・ノイズ軽減を設定する	26
表示言語を設定する.....	26
時計を設定する	26
時計表示タイプを設定する.....	27
ホーム画面タイプを切りかえる	27
ディスプレイ/照光スイッチの明るさを調整する	27
明るさを調整する	27
照光スイッチの明るさを調整する	27
ディスプレイの明るさを調整する	27
画面のカラーテーマを設定する	27
HOME画面のソースアイコンを並べかえる.....	27
カーメーカーを選択する	28
セキュリティコードを設定する	28
セキュリティコードを設定する.....	28
セキュリティコードを解除する.....	28
スマートフォンリンク用車両タイプを設定する.....	28
ハンドル位置を設定する.....	28
燃費タイプを設定する	28
EVコネクタタイプを設定する.....	29
車両情報を確認する.....	29
情報/更新.....	29
製品情報を表示する	29
USBメモリーでソフトウェアバージョンを アップデートする	29
Wi-Fi接続でソフトウェアをアップデートする.....	30
自動ソフトウェア更新チェックを設定する	30
車種専用チューニング	30
ソフトウェアライセンスを表示する	31
音質設定を初期化する	31
全設定項目を初期化する.....	31

音質調整

Media Xpander(MX)を設定する.....	32
イコライザーを設定する(EQ Setting).....	32
パラメトリックEQ (詳細モード/シンプルモ ド)を調整する	32
Bass Max EQを設定する.....	33
Fader(フェダー)/Balance(バランス)/リアス ピーカー/Subwoofer(サブウーファー)を 設定する	33
Fader/Balanceを調整する.....	33
リアスピーカーを設定する.....	34
Subwoofer(サブウーファー)を設定する	34
Time Correction(タイムコレクション)を 設定する	34
X-OVER(クロスオーバー)を設定する.....	34
bass engine SQを設定する.....	35

Bass(低音)/Treble(高音)を調整する.....	35
サブウーファーを設定する.....	36
サブウーファーレベルを調整する	36
サブウーファーの位相を設定する.....	36
Defeat(ディフィート)を設定する	36

Apple CarPlay

Apple CarPlayの利用を開始する.....	37
音声認識(Siri)を使う.....	37

Android Auto

Android Autoの利用を開始する	38
音声認識を使う	38

ラジオ

ラジオを聴く.....	39
放送局を記憶する.....	39
自動で放送局を記憶させる(オートメモリー)	39
記憶した放送局を呼び出す	39
交通情報を受信する	40

USBメモリー

USBオーディオ

再生.....	41
リピート再生.....	41
シャッフル再生	41
音楽ファイルをサーチする.....	41

USBビデオ

再生.....	42
早送り/早戻し	42
リピート再生.....	43
シャッフル再生	43
希望のファイルをサーチする	43
画面サイズを切りかえる	43
音声を切りかえる.....	43

iPodモード(iPhone)

再生.....	44
音楽ファイルをサーチする.....	45
リピート再生.....	45
シャッフル再生	45

HDMI

HDMI操作	46
HDMI入力を切りかえる	46
画面サイズを切りかえる	47

Bluetooth

使用前の設定	47
Bluetoothについて	47
ハンズフリー電話について	47
Bluetoothを使用する前に	48

ハンズフリー電話操作

電話を受ける	49
電話を切る	49
電話をかける	49
電話メニューを使って電話をかける	49
通話中の操作	50
送話音量を調整する	50
音声出力を変更する	50
マイクをミュートする	50
DTMF(タッチトーン)機能	50
電話帳機能	51
電話帳を検索する	51
電話帳と同期させる	51
電話帳を削除する	51

Bluetoothオーディオ

再生	52
リピート再生	52
シャッフル再生	52
希望のファイルをサーチする	52
Bluetooth機器を接続する	52
Bluetoothの接続を切る	53
接続するBluetooth 機器を切りかえる	53

外部入力機器(AUX)

外部入力機器を操作する	53
画面サイズを切りかえる	54

カメラ

リアカメラ操作	55
車のシフトをバックギアに入れてリアカメラ 映像を表示する	55
HOME画面からリアカメラの映像を表示する	55
カメラガイド表示ON/OFF設定	55
コーション表示位置の調整	55
牽引ガイド表示ON/OFF設定	55
リアカメラガイドについて	56
映像パターンを切りかえる(マルチビュー カメラ接続時)	57
フロントカメラ操作	58
HOME画面からフロントカメラの映像を 表示する	58
フロントカメラの画像パターンを切りかえる	58

ガイド表示ON / OFF設定の調整と注意表示 位置の調整について	58
サイドカメラ操作	58
HOME画面からサイドカメラの映像を 表示する	58
ガイド表示ON / OFF設定の調整と注意表示 位置の調整について	58
コーナーカメラ操作	59
HOME画面からコーナーカメラの映像を 表示する	59
ルームカメラ操作	59
HOME画面からルームカメラの映像を 表示する	59

ドライブレコーダー

ドライブレコーダーを操作する	59
----------------------	----

情報

製品のソフトウェアについて	60
電波に関する注意事項	60
対応フォーマットについて	60
MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV/APEについて	60
トラブルシューティング	62
こんなメッセージが表示されたら	63
仕様	64

安全のために必ずお読み ください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる事故やケガに対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の 程度の説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の説明

 強制	必ず実行していただく強制の内容を示しています。
 禁止	禁止(やってはいけないこと)の内容を示しています。
 注意	注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。

取り付け・接続

警告



強制

DC12Vマイナスアース車専用です

24V車で使用しないでください。事故・火災・故障の原因になります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁するショートにより、火災や感電、故障の原因になります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因になります。

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込み、事故・ケガの原因になります。飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をする

感電・ケガの原因になります。

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねる

ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故・故障の原因になります。

説明書に従って、取り付け・配線をする

作業は、手順通りに正しく行ってください。火災・事故の原因になります。

安全のため、パーキングブレーキ線を必ず接続する

交通事故の原因になります。パーキングブレーキ線の接続により、走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。

取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取り付け、配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。また、お客様ご自身による取り付け・配線は、事故・火災・ケガ・故障の原因になります。



分解・改造をしない

特にコードの被覆を切つて他の機器の電源を取るの
は、絶対におやめください。事故・火災・感電の
原因になります。



視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転
操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所
には、取り付けない

事故・ケガの原因になります。

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タ
ンクなどのボルトやナットを使わない

制動不能・火災の原因になります。

助手席エアバッグの近くに取り付け・配線をしな
いエアバッグの動作を妨げ、死亡事故・ケガの
原因になります。

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電
気配線などを傷つけない

事故・火災の原因になります。



注意



強制

車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネ
ジが緩まないように確実に締め付ける

ネジが緩み、事故・故障の原因になります。

コード類を車体やネジ部分、シートレールなどの
可動部にはさんだり、突起部に当てないよう配線
する

断線やショートにより、感電・火災の原因になり
ます。

付属部品を指定通りに使い、確実に固定する

付属の部品以外の使用や指定用途以外の使用は、
機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定で
きずに外れて運転の妨げとなり、事故・故障の
原因になります。



禁止

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるた
め、保護回路が動かなくなり、火災の原因にな
ります。

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない
火災や感電の原因になります。

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところ
には取り付けない

火災・故障の原因になります。

通風孔・放熱板をふさがない

火災・故障の原因になります。

使用方法



警告



強制

ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守る
事故・火災・故障の原因になります。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車
してパーキングブレーキをかける

交通事故の原因になります。テレビやビデオは、
安全のため走行中は表示されません。

カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う

カメラの死角になっている人や障害物に接触する
恐れがあり、事故の原因になります。



禁止

故障や異常な状態のまま使用しない

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変
な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、
必ず販売店(かサービス相談窓口)に相談する。そ
のまま使用すると事故・火災・感電の原因になり
ます。

運転中は操作をしたり、画面を見ない

交通事故・ケガの原因になります。操作や画面を見
る場合には、必ず安全な場所に停車してください。

カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像
だけを見て運転しない

カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるた
め、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の
原因になります。



注意



強制

実際の交通規制に従って運転する

ナビゲーションによるルート案内のみに従って走
行すると、実際の交通規制に反する場合があります、
交通事故の原因となります。



禁止

車以外には使わない

感電・ケガの原因になります。

メディア挿入口、モニターの開閉時のすきま等の
機器内部に、指や異物を入れない

ケガ・故障の原因になります。

落下させる、たたくなどの強い衝撃を与えない

故障・火災の原因になります。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故・故障ま
たは聴力障害の原因になります。



カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異な
るため注意して使用する
事故の原因になります。

取り扱い上のご注意

使用上のお願い

本機の近くでは無線機を使わない

- 本機側の雑音や誤動作の原因になったり、無線機の正常な送受信ができなくなる場合があります。無線機は、本機から離れてご使用になることをおすすめします。また、リモコンスターター・カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。
- キーレスエントリースystemが装着されている車では、キーを本機に近づけると、キーレスエントリースystemがキーを認識しなくなる場合があります。また、キーを本機やBluetoothオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合がありますので、キーを離してご使用ください。

無理な力を加えない

- 製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

お手入れは乾いた布を使う

- お手入れは乾いた布か堅く絞った布でふいてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

- 車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

温度上昇について

- 可動ディスプレイの裏面が暖かくなりますが、故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイについて

- 濡れたままの手や手袋をつけた手では操作しないでください。正常に動作しない場合があります。

お知らせ

本機は国内で使う

- 本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになりません。

お読みください

- この取扱説明書に記載されているソフトウェアは、ライセンスの所有者にのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用することが許されます。
- 当該ライセンスが許可している場合を除き、本出版物のいかなる部分もアルプスアルパイン株式会社の書面による事前の許可なしには、いかなる条件下でも、また電子的・機械的・録音・その他のいかなる手段によっても、コピー・検索システムの記憶・転送を行うことはできません。
- この取扱説明書に記載された内容は、情報の提供のみを目的にしており、予告無しに変更されることがあります。

- 仕様および外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は日本国内専用です。

モニターのお手入れ

- モニターが汚れたら柔らかい布(シリコンクロスなど)でふいてください。
- 汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってからふきとってください。
- 「水」や「水で薄めた中性洗剤」は直接モニターにかけないでください。
- 液体が内部に入り「シミ」や「故障」の原因になります。
- モニターは傷つきやすいため、硬いものでふいたり、こすったり、物をぶつけたり、強い力で押したりしないでください。
- ベンジン・アルコール・シンナーは使用しないでください。変色・変質の原因になります。



注意

- 本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

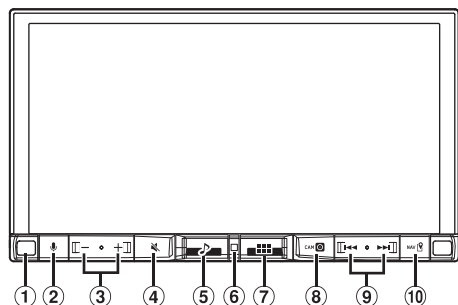
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。
ALPS ALPINE CO., LTD.は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Apple、iPhone、iPod、iTunes、SiriおよびLightningは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Made for Appleマークの使用に関して、バッジ内に記してあるアップル製品に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたアクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- 本アクセサリをアップル製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Siriはマイクを通して機能します。
- Apple CarPlayはApple Inc. の商標です。
- Apple CarPlayロゴの使用に関して、車両のユーザーインターフェースがアップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、車両の動作および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。本製品をiPhoneまたはiPodと使用することにより、無線の性能に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。
- Google、Android、Google Play、Android Autoは、Google LLCの商標です。
車のディスプレイでAndroid Autoを使用するには、Android 6.0以降を実行しているAndroidスマートフォン、アクティブなデータプラン、Android Autoアプリが必要です。
- LDACおよびLDACロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™ロゴは、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。
- この製品は日本オーディオ協会のハイレス定義に準拠しています。Hi-Res Audioロゴ、Hi-Res Audio Wirelessロゴは、日本オーディオ協会の登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

Made for iPhone SE2, iPhone 11 Pro Max, iPhone 11 Pro, iPhone 11, iPhone XS Max, iPhone XS, iPhone XR, iPhone X, iPhone 8, iPhone 8 Plus, iPhone 7, iPhone 7 Plus, iPhone SE, iPhone 6s, iPhone 6s Plus

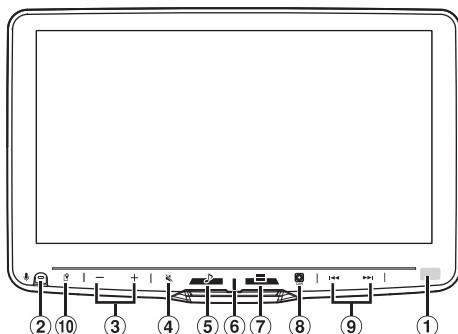
基本操作

各部の名称

■ DA7Z



■ DAF9Z/DAF11Z



① ディマーセンサー

車内の明るさを感知します。

② (音声認識)スイッチ

Apple CarPlayおよびAndroid Auto接続時は音声認識が起動します。

③ -/+ (音量調整)スイッチ

オーディオソースの音量を調整します。

④ (ミュート)スイッチ

ミュートモードをON/OFFします。
2秒以上押し続けると、画面とボタンの照明がオフになります。

⑤ (オーディオ)スイッチ

オーディオ再生画面を表示します。
オーディオ再生画面表示中にソースを切りかえることができます。

⑥ パワーインジケータ

⑦ (HOME)スイッチ

HOME画面を表示します。
HOME画面が表示されているときは、サウンド設定画面が表示されます。
2秒以上押し続けると、電源がオフになります。

⑧ (カメラ)スイッチ

カメラ映像画面を表示します。
カメラ映像画面を表示中は、1秒以上押すと前の画面に戻ります。

⑨ (選局・選曲)スイッチ

選局・選曲を行います。
2秒以上押すと早送り/早戻しを行います。

⑩ (マップ)スイッチ

Apple CarPlayまたはAndroid Autoが接続されている場合は、Apple CarPlay / Android Autoのマップ画面を表示します。

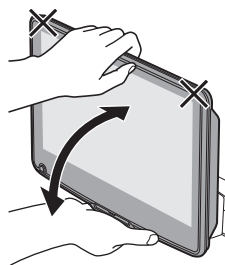
本取扱説明書で使用するスイッチ表記について

本機の正面にあるスイッチは、太字(例: **HOME**)で示します。タッチ画面で表示されるスイッチは、カッコ[]内で太字(例: **[OK]**)で示します。

⚠ 注意

■ DAF9Z/DAF11Zのお客様

ディスプレイを動かすときは、必ず上下中央部を持って動かしてください。ディスプレイ保護のため、左右両端を持って動かさないでください。



電源のON/OFF

1 車のエンジンスイッチをACCまたはONにする

本機の電源も連動してONになります。

- 電源が入るとオープニング画面に続いて、モード画面(USBオーディオ画面など)が表示され、スイッチ照明が明るく点灯します。表示されるモード画面は、前回の電源OFFにしたモード画面を表示します。例えばUSBオーディオ画面のときエンジンをOFFにすると、次回はUSBオーディオ画面で起動します。
- 初めて使用するとき、HOME画面が表示されます。

2 本機の電源をOFFにするには車のエンジンスイッチをOFFにする

- ⏻(HOME)スイッチを2秒以上押し続けても電源を切ることができます。
- 一部の機能は走行中は操作できません。車を安全な場所に移動し、停車後にパーキングブレーキを引いてから操作してください。

音量を調整する

一/十スイッチを押して音量を調整する

一/十スイッチを押し続けると、音量を連続で調整できます。

設定値:

0 ~ 35

一時的に音量を下げる(ミュート)

1 (ミュート)スイッチを押す

瞬時に音量が下がり、ミュートインジケータが点滅します。

2 ミュートを解除するには、再度 (ミュート)スイッチを押す

ディスプレイやボタン照明をOFFにする(Display OFF)

音声出力はそのまま、画面とボタン照明を消灯することができます。

1 (ミュート)スイッチを2秒以上押す

画面とボタンの照明がオフになります。

2 解除するには、再度 (ミュート)スイッチを2秒以上押し続けるか、画面にタッチする

- ハンズフリー電話の着信などの割込みがあった場合は、Display OFFが解除されます。

タッチスイッチの操作について

操作するときはタッチスイッチに軽くタッチしてください。

- 画面保護のため、必ず指でタッチしてください。
- ボールペンの先など、先端が硬いものや、とがっているもので操作しないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなったり、故障の原因となったりします。

タッチ操作

画面上のスイッチまたはリスト項目を軽くタッチします。



- タッチスイッチに触れても反応がない場合は、指を離してください。
- 操作できないタッチスイッチはグレイアウトしています。選択されているスイッチはオレンジ色になります。

スワイプ操作

画面を指でタッチしたままなぞるように動かします。



オーディオソースを選ぶ

1 𠂔𠂔𠂔 (HOME)スイッチを押す

HOME画面が表示されます。



2 希望のソースアイコンをタッチする

- HOME画面では、画面上のソースアイコンの位置を変更できます。詳しくは、「HOME画面のソースアイコンを並べかえる」(27ページ)を参照してください。

リスト画面の操作

リストをスクロールするには、次の操作を実行します。

画面をタッチして、上下にフリック(指で軽くはらう)する

画面は指の動きに合わせてスクロールします。



- 前の画面に戻ります。
- リスト画面を閉じます。

- 画面に触れた後、フリックする前に画面から指を離すと、その項目が選択されます。

HOME画面について

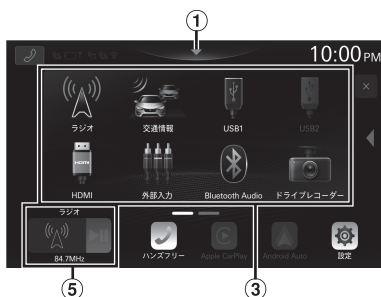
HOME画面でソースアイコンを選択し、機能の各種設定や操作を行います。

- HOME画面は、ノーマルモードと拡大モードを切りかえることができます。詳しくは、「ホーム画面タイプを切りかえる」(27ページ)を参照してください。

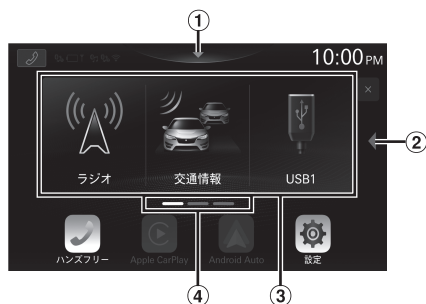
𠂔𠂔𠂔 (HOME)スイッチを押す

HOME画面が表示されます。

■ ノーマルモード画面例



■ 拡大モード画面例



- タッチするとサウンド設定画面を表示します。
 - HOME画面を表示中に、𠂔𠂔𠂔 (HOME)スイッチを押してもサウンド設定画面を表示することができます。
- タッチしてページを切りかえます。
 - HOME画面を指で水平にスワイプしてもページを変更することができます。
- オーディオソース選択エリア
希望のソースアイコンをタッチして、オーディオソースを変更します。
 - ソースアイコンの順番を変更することができます。詳しくは、「HOME画面のソースアイコンを並べかえる」(27ページ)を参照してください。

④ HOME画面ナビゲーション

- ⑤ 現在ソースのサムネイルウィンドウ
ソース名、アートワーク、タイトル情報が表示されます。アートワークにタッチするとソース画面を表示できます。[▶]にタッチすると曲や映像を再生/一時停止することができます。

インジケータ表示について

画面上部には、接続しているiPhoneまたはスマートフォンのさまざまな情報が表示されます。



① 電話スイッチ

iPhoneまたはスマートフォンが接続されていない場合は、接続機器リスト画面が表示されます。
ハンズフリー電話が接続されている場合は、電話メニュー画面が表示されます。表示される画面は前回ログアウトした画面が表示されます。
Apple CarPlay接続中はApple CarPlay画面が表示されます。
Android Auto接続中はAndroid Auto画面が表示されます。

- ② ハンズフリー電話①をBluetooth接続すると点灯します。

③ ハンズフリー電話①用バッテリーレベル

バッテリーなし	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5

ハンズフリー電話②では表示されません。

④ ハンズフリー電話①用Bluetooth電界強度インジケータ

Bluetooth設定がONのときに表示されます。

0	1	2	3	4	5

ハンズフリー電話②では表示されません。

- ⑤ オーディオデバイスをBluetooth接続すると点灯します。

- ⑥ ハンズフリー電話②をBluetooth接続すると点灯します。

⑦ Wi-Fi信号強度インジケータ

インターネット接続でWi-Fiアクセスポイントに接続しているときにWi-Fi信号強度レベルを示します。

0	1	2	3	4

⑧ 時計表示

タッチすると時計表示をON/OFFすることができます。

12時間表示と24時間表示のオプションを切りかえることができます(27ページ)。

設定

設定操作

1 𠂇𠂇 (HOME)スイッチを押す

HOME画面が表示されます。



【設定】スイッチ

2 「設定」をタッチする

設定メニュー画面が表示されます。



3 設定メニュー画面上部の希望する設定ジャンルをタッチし、設定する項目をタッチする

設定ジャンル：

- 通信： 「通信機器設定」(13ページ)を参照してください。
- 機能： 「機能設定」(17ページ)を参照してください。
- システム： 「システム設定」(26ページ)を参照してください。

通信機器設定

設定メニュー画面で「通信」を選択します。

■ 通信設定画面



設定項目：

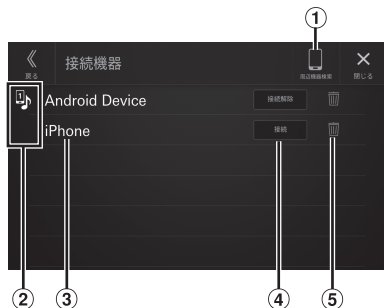
- 接続機器 (13ページ)
- Wi-Fi (15ページ)
- Bluetooth (17ページ)
- 自機情報表示 (17ページ)

接続機器リストを表示する

通信設定メニュー画面で「接続機器」を選択します。

本機に登録または接続している接続機器リストが表示されます。Bluetooth機器を10台、USB接続しているApple CarPlayまたはAndroid Auto機能と互換性のある機器を1台表示できます。

■ 通信機器リスト画面表示例



① 周辺機器検索

Bluetooth機器またはWi-Fi機器を検索します。詳しくは、「Bluetooth®機器を接続する」(14ページ)を参照してください。

② サービスアイコン

- ①: ハンズフリー 1
- ②: ハンズフリー 2
- ③: Bluetooth Audio
- ④: ハンズフリー 1 + Bluetooth Audio
- ⑤: ハンズフリー 2 + Bluetooth Audio
- ⑥: Apple CarPlay
- ⑦: Android Auto

- ③ 機器名称または機器アドレス
- ④ 選択した機器を接続または切断できます。詳しくは、「接続機器リストに登録している機器を接続する」「接続している機器を切断する」(14ページ)を参照してください。
- ⑤ 選択した機器の情報を削除できます。詳しくは、「登録している機器を削除する」(14ページ)を参照してください。

Bluetooth®機器を接続する

Bluetooth機器を検索します。

設定項目:

周辺機器検索

1 [周辺機器検索]をタッチする

ワイヤレスで本機と接続できる機器の検索が開始されます。

検索リスト画面が表示され、検索した機器のリストが表示されます。

2 リストから接続したいデバイスにタッチする

3 接続する機器にコードが表示されたら、本機画面のコードと同じであることを確認し、[はい]をタッチする

接続が完了すると、メッセージが表示されます。

接続機器リストに登録している機器を接続する

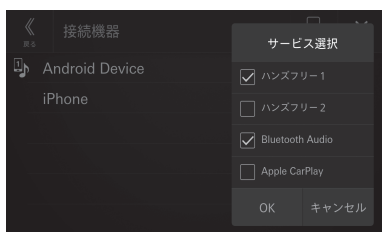
以前に登録したBluetooth機器から接続する機器を選択します。

1 接続機器リストから、接続したい機器の[接続]をタッチする

サービス選択画面が表示されます。

2 サービス選択画面から接続する機器の用途を選択し、[OK]をタッチする

選択した機能にはチェックマークが表示されます。



ハンズフリー 1:

1台目のハンズフリー電話として使用できます。

ハンズフリー 2:

2台目のハンズフリー電話として使用できます。

Bluetooth Audio:

Bluetoothオーディオ機器として使用できます。

Apple CarPlay®:

Apple CarPlayとして使用できます。

※ Apple CarPlayモードを使用したいとき、サービス選択に「Apple CarPlay」が表示されていない場合は、[Hands Free1]または[Hands Free2]を選択して接続してください。

- 例えば、ハンズフリー電話とBluetoothオーディオで使用する場合は、[ハンズフリー 1]と[Bluetooth Audio]を選択します。

接続が完了すると、メッセージが表示されます。

接続している機器を切断する

接続機器リストから切断したい機器の[接続解除]をタッチする

機器が切断されます。

登録している機器を削除する

接続機器リストから機器の情報を削除できます。

1 削除したい機器の[](削除)にタッチする

2 メッセージが表示されたら[はい]にタッチする

接続機器リストから削除されます。

- ・[いいえ]にタッチすると削除がキャンセルされます。

Wi-Fi設定

通信設定メニュー画面で**[Wi-Fi]**を選択します。

Wi-Fiモードを設定する

Wi-Fiを使用する環境にあわせてWi-Fiモードを設定してください。

設定項目:

Wi-Fiモード

設定レベル:

Off(初期設定値) / ネットワークモード / フォンリンクモード

- Off: Wi-Fiは使用できません。
- ネットワークモード: インターネット接続でWi-Fiアクセスポイントに接続して、ソフトウェアのアップデートを使用するときに設定します。
ネットワークモードに設定するとWi-Fi設定が有効になります。詳しくは、「Wi-Fiアクセスポイントに接続する」(15ページ)をご覧ください。
- フォンリンクモード: ワイヤレス接続でApple CarPlayを使用することができます。
フォンリンクモードに設定するとフォンリンクのPSK設定が有効になります。詳しくは、「本機のWi-Fiパスワードを変更する」(16ページ)をご覧ください。

- ・[ネットワークモード]に設定している場合、ワイヤレス接続でApple CarPlayは使用できません。その際は、iPhoneをUSBで接続してください。

Wi-Fiアクセスポイントに接続する

本機のソフトウェアをWi-Fi接続でアップデートするには、安定なインターネット接続でWi-Fiアクセスポイントに接続する必要があります。

- ・「Wi-Fiモード」設定が[ネットワークモード]のときのみ設定できます(15ページ)。
- ・Wi-Fiの代わりにUSBメモリーを使用してソフトウェアをアップデートする場合は、「USBメモリーでソフトウェアバージョンをアップデートする」(29ページ)を参照してください。

※ データ通信には通信費が発生します。通信費はお客様負担となります。

設定項目:

Wi-Fi設定

1 [Wi-Fi設定]をタッチする

Wi-Fi設定画面が表示されます。

2 [サーチ]をタッチする



Wi-Fiアクセスポイントを検索します。検索が完了すると、Wi-Fi設定(サーチ)画面が表示されます。

- ・接続されているアクセスポイントはWi-Fi設定(サーチ)画面には表示されません。

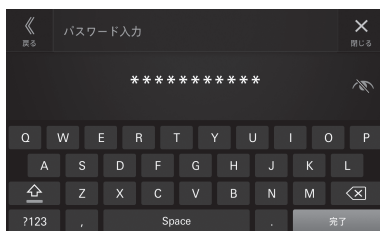
3 リストから接続するアクセスポイントを選択する



パスワード入力画面が表示されます。

- ・Wi-Fi設定(サーチ)画面で**[SSID入力]**をタッチすると、アクセスポイントのSSID、セキュリティ、パスワードを手動で入力して、新しいアクセスポイントに接続できます。SSIDは1～32文字、パスワードは8～64文字入力できます。
セキュリティが[なし]に設定されている場合、パスワードの入力は不要です。

4 パスワードを入力し、[完了]をタッチする



- ・入力した番号を削除するには、[<X>]をタッチします。

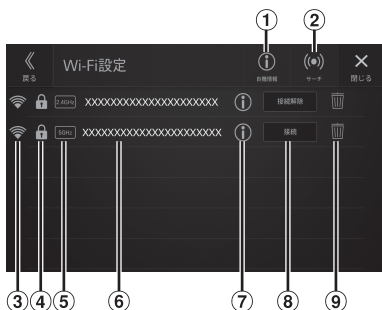
5 [OK]をタッチする



アクセスポイントへの接続が完了すると、Wi-Fi設定画面が表示されます。



■ Wi-Fi設定画面例



① 自機情報

タッチすると、本機のMACアドレスとIPアドレスが表示されます。

② サーチ

Wi-Fiアクセスポイントを検索します。詳しくは「Wi-Fiアクセスポイントに接続する」(15ページ)を参照してください。

③ アクセスポイントの信号強度

④ アクセスポイントのセキュリティプロンプト (None/WEP/WPA/WPA2/WPA3)

⑤ アクセスポイントのバンド表示

⑥ アクセスポイントのSSID

⑦ アクセスポイントの詳細情報を表示します。

⑧ 選択したWi-Fiアクセスポイントに接続または切断します。詳しくは、「Wi-Fiアクセスポイントリストに登録されているアクセスポイントに接続する」または「接続されているアクセスポイントを切断する」(16ページ)を参照してください。

⑨ 選択したWi-Fiアクセスポイントを削除します。詳しくは、「リストからアクセスポイントを削除する」(16ページ)を参照してください。

Wi-Fiアクセスポイントリストに登録されているアクセスポイントに接続する

以前に登録したリストからWi-Fiアクセスポイントの1つを選択します。

Wi-Fiアクセスポイント一覧から、接続したいアクセスポイントの[接続]をタッチする

Wi-Fi接続が開始されます。

接続されているアクセスポイントを切断する

Wi-Fiアクセスポイントリストから切断したいアクセスポイントの[接続解除]をタッチする

アクセスポイントが切断されます。

リストからアクセスポイントを削除する

以前に接続したアクセスポイントの情報を削除することができます。

1 Wi-Fiアクセスポイントリストから削除したいアクセスポイントの[削除]にタッチする

2 メッセージが表示されたら[OK]にタッチする

- ・[キャンセル]にタッチすると削除がキャンセルされます。

本機のWi-Fiパスワードを変更する

本機のWi-Fiパスワード(PSK)をランダムに変更できます。

設定項目:

フォンリンクのPSK

「フォンリンクのPSK」の[設定]にタッチする

Wi-Fiパスワード(PSK)が変更されます。

- ・パスワードは本機で生成されます。新しいパスワードを作成することはできません。
- ・「Wi-Fiモード」設定(15ページ)が[フォンリンクモード]に設定されている場合にのみ、設定ができます。

Bluetooth設定

通信設定メニュー画面で[Bluetooth]を選択します。

BluetoothのON/OFFを設定する

Bluetooth機器を本機と接続するときは[On]に設定します。

設定項目:

Bluetooth

「Bluetooth」の[☐](Off)または[☒](On)をタッチする

自動接続を設定する

最後に接続したBluetooth機器を自動的に接続できます。

設定項目:

自動接続

「自動接続」の[☐](Off)または[☒](On)をタッチする

パスキーを変更する

Bluetooth機器と接続するためのパスキーを変更できます。

設定項目:

パスキー変更

1 [パスキー変更]にタッチする

テンキー画面が表示されます。

2 [クリア]をタッチする

パスキーがクリアされ、新しいパスキーが入力できるようになります。

3 4桁のパスキーを入力し、[OK]をタッチする

- 初期設定値は「0000」です。
- 入力した番号を削除するには、[<X>]をタッチします。
- すべての番号を削除するには、[クリア]をタッチします。

自機情報を確認する

通信設定メニュー画面で[自機情報表示]を選択します。

BluetoothおよびWi-Fiの自機名称とアドレスを表示できます。

設定項目:

自機情報表示

機能設定

設定メニュー画面で[機能]を選択します。

■ 機能設定画面

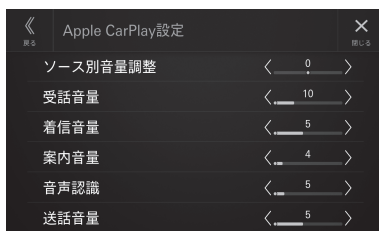


設定項目:

Apple CarPlay (17ページ)
Android Auto (18ページ)
ラジオ (19ページ)
USB (19ページ)
iPod (20ページ)
外部入力 (20ページ)
HDMI (21ページ)
ハンズフリー (21ページ)
Bluetooth Audio (17ページ)
ドライブレコーダー (22ページ)
カメラ (23ページ)

Apple CarPlay設定

機能設定メニュー画面で[Apple CarPlay]を選択します。



Apple CarPlayの音量を調整する

設定項目:

ソース別音量調整

設定レベル:

-14 ~ +14 (初期設定値: 0)

「ソース別音量調整」の[<]または[>]をタッチして、Apple CarPlayで再生するメディアの音量を設定する

受話音量を調整する

設定項目:

受話音量

設定レベル:

1 ~ 35 (初期設定値:5)

「受話音量」の[<]または[>]をタッチして、受話音量を設定する

着信音量を調整する

設定項目:

着信音量

設定レベル:

1 ~ 11 (初期設定値:5)

「着信音量」の[<]または[>]をタッチして、着信音量を設定する

案内音量を調整する

設定項目:

案内音量

設定レベル:

1 ~ 35 (初期設定値:10)

「案内音量」の[<]または[>]をタッチして、案内音量を設定する

音声認識の音量を調整する

設定項目:

音声認識

設定レベル:

1 ~ 35 (初期設定値:10)

「音声認識」の[<]または[>]をタッチして、音声認識の音量を設定する

送話音量を調整する

設定項目:

送話音量

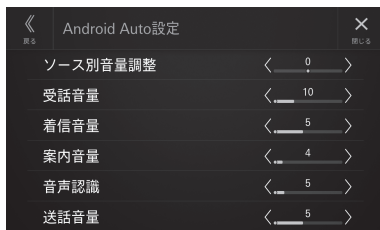
設定レベル:

1 ~ 11 (初期設定値:5)

「送話音量」の[<]または[>]をタッチして、送話音量を設定する

Android Auto設定

機能設定メニュー画面で[Android Auto]を選択します。



Android Autoの音量を調整する

設定項目:

ソース別音量調整

設定レベル:

-14 ~ +14 (初期設定値:0)

「ソース別音量調整」の[<]または[>]をタッチして、Android Autoで再生するメディアの音量を設定する

受話音量を調整する

設定項目:

受話音量

設定レベル:

1 ~ 35 (初期設定値:5)

「受話音量」の[<]または[>]をタッチして、受話音量を設定する

着信音量を調整する

設定項目:

着信音量

設定レベル:

1 ~ 11 (初期設定値:5)

「着信音量」の[<]または[>]をタッチして、着信音量を設定する

案内音量を調整する

設定項目:

案内音量

設定レベル:

1 ~ 35 (初期設定値:10)

「案内音量」の[<]または[>]をタッチして、案内音量を設定する

音声認識の音量を調整する

設定項目:

音声認識

設定レベル:

1 ~ 35 (初期設定値:10)

「音声認識」の[<]または[>]をタッチして、音声認識の音量を設定する

送話音量を調整する

設定項目:

送話音量

設定レベル:

1 ~ 11 (初期設定値:5)

「送話音量」の[<]または[>]をタッチして、送話音量を設定する

ラジオ設定

機能設定メニュー画面で[ラジオ]を選択します。



ラジオの音量を調整する

設定項目:

ソース別音量調整

設定レベル:

-14 ~ +14 (初期設定値:0)

「ソース別音量調整」の[<]または[>]をタッチして、ラジオの音量を設定する

USB設定

機能設定メニュー画面で[USB]を選択します。

- ここで設定した値が USB1 と USB2 に反映されます。



USB再生時の音量を調整する

設定項目:

ソース別音量調整

設定レベル:

-14 ~ +14 (初期設定値:0)

「ソース別音量調整」の[<]または[>]をタッチして、USBオーディオ/USBビデオ再生時の音量を設定する

USBビデオの画質を調整する

現在のソースがUSBビデオのときのみ設定できます。

設定項目:

画質調整

「明るさ」「色の濃さ」「コントラスト」の[<]または[>]をタッチして、画質を設定する

明るさを調整する

設定項目:

明るさ

設定レベル:

-15 ~ +15 (初期設定値:0)

色の濃さを調整する

設定項目:

色の濃さ

設定レベル:

0 ~ 2 (初期設定値:0)

コントラストを調整する

設定項目:

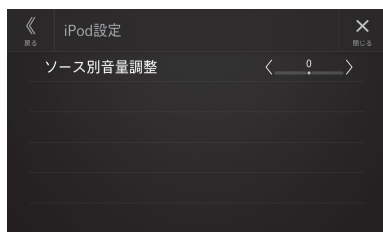
コントラスト

設定レベル:

-15 ~ +15 (初期設定値:0)

iPod設定

機能設定メニュー画面で*[iPod]*を選択します。



iPod再生時の音量を調整する

設定項目:

ソース別音量調整

設定レベル:

-14 ~ +14(初期設定値:0)

「ソース別音量調整」の[<]または[>]をタッチして、iPod再生時の音量を設定する

外部入力(AUX)設定

機能設定メニュー画面で*[外部入力]*を選択します。



外部入力機器再生時の音量を調整する

設定項目:

ソース別音量調整

設定レベル:

-14 ~ +14(初期設定値:0)

「ソース別音量調整」の[<]または[>]をタッチして、外部入力機器再生時の音量を設定する

外部接続機器を設定する

外部機器の表示名を設定します。ソース名称としてHOME画面やオーディオ画面に表示されます。

設定項目:

外部接続機器選択

設定値:

Off / 外部入力(初期設定値) / TV

- 現在のソースが外部入力(またはTV)のときは設定できません。

外部入力機器の画質を調整する

現在のソースが外部入力(またはTV)のときにのみ設定できます。

設定項目:

画質調整

「明るさ」「色の濃さ」「コントラスト」の[<]または[>]をタッチして、画質を設定する

明るさを調整する

設定項目:

明るさ

設定レベル:

-15 ~ +15(初期設定値:0)

色の濃さを調整する

設定項目:

色の濃さ

設定レベル:

0 ~ 2(初期設定値:0)

コントラストを調整する

設定項目:

コントラスト

設定レベル:

-15 ~ +15(初期設定値:0)

HDMI設定

機能設定メニュー画面で[HDMI]を選択します。



HDMI再生時の音量を調整する

設定項目:

ソース別音量調整

設定レベル:

-14 ~ +14(初期設定値:0)

「ソース別音量調整」の[<]または[>]をタッチして、HDMI再生時の音量を設定する

HDMI接続機器を設定する

HDMI経由で接続された外部機器の名前を設定できます。ソース名称としてHOME画面やオーディオ画面に表示されます。

設定項目:

HDMI接続機器選択

設定値:

Off / HDMI(初期設定値) / TV

- 現在のソースがHDMI(またはTV)のときは設定できません。

HDMIの画質を調整する

現在のソースがHDMI(またはTV)のときにのみ設定できます。

設定項目:

画質調整

「明るさ」「色の濃さ」「コントラスト」の[<]または[>]をタッチして、画質を設定する

明るさを調整する

設定項目:

明るさ

設定レベル:

-15 ~ +15(初期設定値:0)

色の濃さを調整する

設定項目:

色の濃さ

設定レベル:

0 ~ 2(初期設定値:0)

コントラストを調整する

設定項目:

コントラスト

設定レベル:

-15 ~ +15(初期設定値:0)

HDMIセクターを設定する

別売のHDMIセクターを接続した場合は[On]に設定します。

設定項目:

HDMIセクター

「HDMIセクター」の[☐](Off)または[☒](On)をタッチする

ハンズフリー設定

機能設定メニュー画面で[ハンズフリー]を選択します。



着信音量を調整する

設定項目:

着信音量

設定レベル:

1 ~ 11(初期設定値:5)

「着信音量」の[<]または[>]をタッチして、着信音量を設定する

- Apple CarPlay、Android Auto接続時は設定できません。

受話音量を調整する

設定項目:

受話音量

設定レベル:

1 ~ 35 (初期設定値: 5)

「受話音量」の[<]または[>]をタッチして、受話音量を設定する

- Apple CarPlay、Android Auto接続時は設定できません。

送話音量を調整する

設定項目:

送話音量

設定レベル:

1 ~ 11 (初期設定値: 5)

「送話音量」の[<]または[>]をタッチして、送話音量を設定する

- Apple CarPlay、Android Auto接続時は設定できません。

履歴/電話帳自動同期を設定する

電話帳、各履歴を自動的に転送するかどうかを設定します。

設定項目:

履歴/電話帳自動同期

設定値:

Auto (初期設定値) / Manual

電話帳の姓名表示を設定する

電話帳に表示する姓と名の順序を設定します。

設定項目:

電話帳 姓名表示

設定値:

姓/名 (初期設定値) / 名/姓

通話履歴日付表示を設定する

通話履歴に表示する日付のフォーマットを設定します。

設定項目:

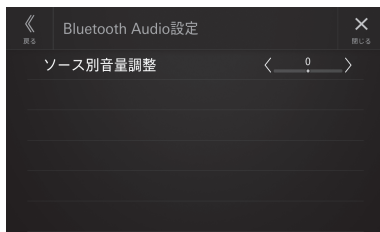
通話履歴日付表示

設定値:

YYYY/MM/DD (初期設定値) / MM/DD/YYYY /
DD/MM/YYYY

Bluetoothオーディオ設定

機能設定メニュー画面で[Bluetooth Audio]を選択します。



Bluetoothオーディオ再生時の音量を調整する

設定項目:

ソース別音量調整

設定レベル:

-14 ~ +14 (初期設定値: 0)

「ソース別音量調整」の[<]または[>]をタッチして、Bluetoothオーディオ再生時の音量を設定する

ドライブレコーダー設定

機能設定メニュー画面で[ドライブレコーダー]を選択します。



ドライブレコーダー接続を設定する

別売のドライブレコーダーを接続したときに[On]に設定します。

設定項目:

ドライブレコーダー接続

「ドライブレコーダー接続」の[](Off)または[](On)をタッチする

ドライブレコーダーの画質を調整する

ドライブレコーダー接続設定が[On]のときにのみ設定できます(22ページ)。

設定項目:

画質調整

「明るさ」「色の濃さ」「コントラスト」の[<]または[>]をタッチして、画質を設定する

明るさを調整する

設定項目:

明るさ

設定レベル:

-15 ~ +15(初期設定値:0)

色の濃さを調整する

設定項目:

色の濃さ

設定レベル:

0 ~ 2(初期設定値:0)

コントラストを調整する

設定項目:

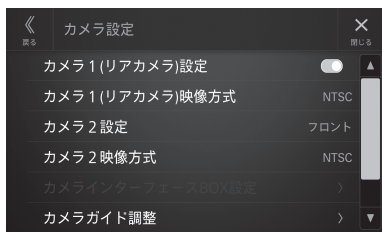
コントラスト

設定レベル:

-15 ~ +15(初期設定値:0)

カメラ設定

機能設定メニュー画面で[カメラ]を選択します。



カメラ1(リアカメラ)を設定する

別売のリアカメラを接続したときに[On]に設定します。

設定項目:

カメラ1(リアカメラ)設定

「カメラ1(リアカメラ)設定」の[](Off)または[](On)をタッチする

- カメラ映像画面の[設定]からカメラ設定画面を表示した場合は、「カメラ1(リアカメラ)設定」は設定できません。

カメラ1(リアカメラ)の入力信号を設定する

カメラ1(リアカメラ)のビデオ入力信号の種類を選択できます。

設定項目:

カメラ1(リアカメラ)映像方式

設定値:

NTSC(初期設定値) / PAL

- 「カメラ1(リアカメラ)設定」が[Off]のときは設定できません。

カメラ2を設定する

2台目のカメラを接続した場合の用途を設定します。

設定項目:

カメラ2設定

設定値:

Off(初期設定値) / フロント / サイド / 汎用 /
カメラインターフェースBOX*

- ※ 別売のマルチインターフェースBOX(IFB-N200)を接続した場合に選択してください。
別売のマルチインターフェースBOXを接続すると、フロントカメラ・リアカメラ・サイドカメラ・コーナーカメラ・ルームカメラを最大5台まで接続できます。続けて、「カメラインターフェースBOX設定」(24ページ)で接続したカメラを[On]に設定してください。

- カメラ映像画面の[設定]からカメラ設定画面を表示した場合は、「カメラ2設定」は設定できません。

カメラ2の入力信号を設定する

カメラ2のビデオ入力信号の種類を選択できます。

設定項目:

カメラ2映像方式

設定値:

NTSC(初期設定値) / PAL

- 「カメラ2設定」が[Off]、または[カメラインターフェースBOX]のときは設定できません。

カメラインターフェースBOXを設定する

別売のマルチインターフェースBOX(IFB-N200)に接続したカメラを[On]に設定します。

設定項目:

カメラインターフェースBOX設定

設定値:

フロントカメラ / リアカメラ / サイドカメラ / コーナーカメラ / ルームカメラ / 汎用カメラ

[リアカメラ][フロントカメラ][サイドカメラ]
[コーナーカメラ][ルームカメラ]の[☐] (Off)
または[☒] (On)をタッチする

- 「カメラ1(リアカメラ)設定」(23ページ)が[On]の場合、[リアカメラ]は設定できません。
- 「汎用カメラ」を選択したときは、汎用カメラの種類(リアカメラ、サイドカメラ、コーナーカメラ、ルームカメラ)を選択します。初期設定値は[なし]です。「カメラ1(リアカメラ)設定」または「カメラインターフェースBOX設定」で[On]にしているカメラは[汎用カメラ]では選択できません。また、「カメラインターフェースBOX設定」で[リアカメラ]、[サイドカメラ]、[コーナーカメラ]、[ルームカメラ]が[On]の場合、[汎用カメラ]は選択できません。
- カメラ映像画面の[設定]からカメラ設定画面を表示した場合は、「カメラインターフェースBOX設定」は設定できません。

カメラガイドを調整する

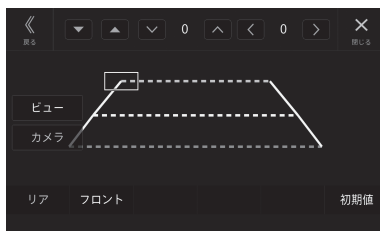
カメラガイドの位置を調整できます。

設定項目:

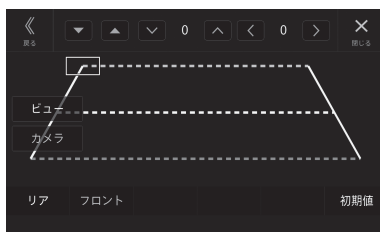
カメラガイド調整

- 1 カメラ設定メニュー画面の[カメラガイド調整]をタッチする
カメラガイド調整画面が表示されます。
- 2 [カメラ]にタッチしたあと、調整したいカメラ[リア][フロント][サイド]のいずれかにタッチする
 - ・ 汎用カメラのガイドラインは調整できません。

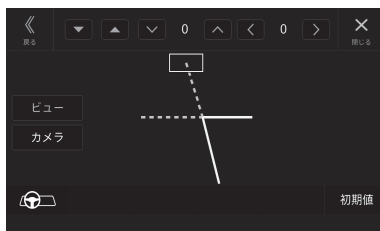
■ リアカメラ画面表示例



■ フロントカメラ画面表示例



■ サイドカメラ画面表示例



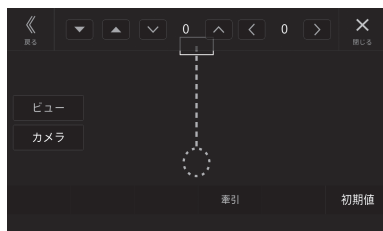
- ・ サイドカメラを調整するときは、[ビュー]にタッチし、[
- 3 [▼][▲]をタッチして調整するガイドを選択する
 - 4 [✓][へ][<][>]をタッチして、ガイドの位置を調整する
 - 5 [戻る]または[閉じる]をタッチして調整を完了させる
- ・ [初期値]にタッチすると設定を初期値の状態に戻すことができます。

牽引ガイドラインを調整する

リアカメラでのみ調整ができます。

1 [ビュー]にタッチし、[牽引]にタッチする

牽引調整画面が表示されます。



2 [▼][▲]をタッチして調整するガイドを選択する

3 [▼][▲][<][>]をタッチして、ガイドの位置を調整する

4 [戻る] または [閉じる] をタッチして調整を完了させる

- [初期値] にタッチすると設定を初期値の状態に戻すことができます。

カメラの画質を調整する

設定項目:

画質調整

「明るさ」「色の濃さ」「コントラスト」の「<」または「>」をタッチして、画質を設定する

明るさを調整する

設定項目:

明るさ

設定レベル:

-15 ～ +15 (初期設定値:0)

色の濃さを調整する

設定項目:

色の濃さ

設定レベル:

0 ～ 2 (初期設定値:0)

コントラストを調整する

設定項目:

コントラスト

設定レベル:

-15 ～ +15 (初期設定値:0)

リバース連動ミュートを設定する

車を後退中にオーディオ音量をミュートすることができます。

設定項目:

リバース連動ミュート

「リバース連動ミュート」の[☐](Off)または[☒](On)をタッチする

システム設定

設定メニュー画面で[システム]を選択します。

■ システム設定画面



設定項目:

操作音 (26ページ)
送話エコー・ノイズ軽減 (26ページ)
表示言語 (Language) (26ページ)
時計設定 (26ページ)
ホーム画面切替 (27ページ)
画面/照光スイッチ明るさ調整 (27ページ)
カラーテーマ (27ページ)
ホーム画面のソース並び替え (27ページ)
カメラカー選択 (28ページ)
セキュリティコード設定 (28ページ)
スマートフォンリンク用車両タイプ (29ページ)
車両情報 (29ページ)
情報/更新 (29ページ)

操作音を調整する

システム設定メニュー画面で[操作音]を選択します。
スイッチをタッチしたときに聞こえる音量を変更できます。

設定項目:

操作音

設定レベル:

0 ~ 7 (初期設定値: 4)

「操作音」の[<]または[>]をタッチして、操作音量を設定する

送話エコー・ノイズ軽減を設定する

システム設定メニュー画面で[送話エコー・ノイズ軽減]を選択します。

ハンズフリー電話やApple CarPlayの通話、Android Autoの通話を使用する場合に設定します。

車内空間にあわせてマイクエフェクト(送話エコー・ノイズ軽減)のレベルを設定することができます。

設定項目:

送話エコー・ノイズ軽減

設定値:

1 / 2 (初期設定値) / 3

- | | |
|----|-----------|
| 1: | 車内空間が狭い車 |
| 2: | 車内空間が中間の車 |
| 3: | 車内空間が広い車 |

- Apple CarPlay、Android Autoの音声認識には適用されません。

表示言語を設定する

システム設定メニュー画面で[表示言語(Language)]を選択します。

本機の設定メニューやフィードバック情報などを選択した言語で表示することができます。

設定項目:

表示言語^{*1} (Language^{*2})

設定値:

English / Deutsch / Français / Español / Português /
Italiano / Nederlands / Suomi / Norsk / Svenska / Dansk /
русский язык / Slovenčina / Polski / Český / Magyar /
Ελληνικά / עברית / Türkçe / 中文 / العربية /
日本語 (初期設定値) / עברית / Bahasa Indonesia

- 現在選択されている言語が表示されます。

※1 現在選択されている言語で表示します。

※2 常に英語で表示します。

時計を設定する

システム設定メニュー画面で[時計設定]を選択します。

設定項目:

時計設定

時計表示タイプを設定する

時計表示の表示タイプは、好みに応じて12時間または24時間表示に設定できます。

設定項目:

時計表示選択

設定値:

12H / 24H(初期設定値)

ホーム画面タイプを切りかえる

システム設定メニュー画面で[ホーム画面切替]を選択します。

Home画面を拡大(大)モードに変更することができます。詳しくは、「拡大モード画面例」(11ページ)を参照してください。

設定項目:

ホーム画面切替

設定値:

ノーマル(初期設定値) / 大

ディスプレイ/照光スイッチの明るさを調整する

システム設定メニュー画面で[画面/照光スイッチ明るさ調整]を選択します。

明るさを調整する

車内の明るさを感じてディスプレイと照光スイッチの明るさを調整します。

設定項目:

明るさ調整

設定値:

Auto(初期設定値) / On / Off

Auto: 車内の明るさを感じてディスプレイと照光スイッチの明るさを切りかえます。

On: 車内の明るさに関係なく、「照光スイッチ明るさ調整」(27ページ)および「画面明るさ調整」(27ページ)で設定した明るさを反映します。

Off: 車内の明るさに関係なく、ディスプレイと照光スイッチの明るさを明るく保ちます。

照光スイッチの明るさを調整する

夜間など車内の明るさが暗い時の照光スイッチの明るさを設定できます。

設定項目:

照光スイッチ明るさ調整

設定レベル:

-2 ~ +2(初期設定値:0)

- 「明るさ調整」(27ページ)が[On]または[Auto]に設定されている場合にのみ設定できます。

ディスプレイの明るさを調整する

夜間など車内の明るさが暗い時のディスプレイの明るさを設定できます。

設定項目:

画面明るさ調整

設定レベル:

-15 ~ +15(初期設定値:0)

- 「明るさ調整」(27ページ)が[On]または[Auto]に設定されている場合にのみ設定できます。

画面のカラーテーマを設定する

システム設定メニュー画面で[カラーテーマ]を選択します。

8種類のディスプレイカラーから選択できます。

設定項目:

カラーテーマ

設定値:

ブルー(初期設定値) / ライトブルー / グリーン / グリーンブルー / レッド/アンバー / ゴールド / ホワイト

HOME画面のソースアイコンを並べかえる

システム設定メニュー画面で[ホーム画面のソース並び替え]を選択します。

HOME画面に表示されるソースアイコンの順番を並べかえることができます。

設定項目:

ホーム画面のソース並び替え

ソース名の[▼][▲]にタッチして順番を入れかえる

カーメーカーを選択する

システム設定メニュー画面で[カーメーカー選択]を選択します。
ステアリングスイッチを使用するメーカーを設定します。

設定項目:

カーメーカー選択

設定値:

なし(初期設定値) / TOYOTA/DAIHATSU / MAZDA
/ NISSAN① / NISSAN② / NISSAN③ / HONDA /
SUBARU / SUZUKI / MITSUBISHI

セキュリティコードを設定する

システム設定メニュー画面で[セキュリティコード設定]を選択します。
セキュリティコードを設定します。バッテリーを外して再度使用を開始したときに、設定したセキュリティコードを入力しないと本機を使用することができなくなります。

設定項目:

セキュリティコード設定

設定値:

Off(初期設定値) / On

セキュリティコードを設定する

1 セキュリティコード設定の[

2 メッセージが表示されたら[OK]にタッチする
セキュリティコード設定画面が表示されます。

3 セキュリティコードを6桁入力し、[OK]をタッチして設定する

- 入力番号は「*」で表示されます。
- 入力した番号を削除するには、[- すべての番号を削除するには、[クリア]をタッチします。

4 同じパスワードをもう一度入力し、[OK]をタッチする

・セキュリティ設定を解除するにはセキュリティコードが必要です。セキュリティコードを忘れてしまった場合には、お客様登録したうえで、アルパイン・インフォメーションセンターにご相談ください。

セキュリティコードを解除する

1 「セキュリティコード設定」の[

セキュリティコード設定画面が表示されます。

2 設定したパスワードを入力し、[OK]をタッチする
パスワードがクリアされ、システムがシステムセットアップメニュー画面に戻り、セキュリティコードが[

- 入力番号は「*」で表示されます。

スマートフォンリンク用車両タイプを設定する

システム設定メニュー画面で[スマートフォンリンク用車両タイプ]を選択します。

Apple CarPlayと Android Autoでは、すべての機能を可能な限り最適な方法で使用するために、車両に関する情報が必要です。

設定項目:

スマートフォンリンク用車両タイプ

ハンドル位置を設定する

Apple CarPlay、Android Autoを使用する場合に設定します。
この設定は、Apple CarPlay/Android Autoモードに影響します。

設定項目:

ハンドル位置

設定値:

左 / 右(初期設定値)

燃費タイプを設定する

車の燃費タイプを設定します。

設定項目:

燃費タイプ

設定値:

不明 / 無鉛ガソリン(初期設定値) / 有鉛ガソリン /
ディーゼル#1 / ディーゼル#2 / バイオディーゼル /
エタノール/ガソリン混合物85% / 液化石油ガス /
圧縮天然ガス / 液化天然ガス / 電気 /
水素燃料電池 / その他

EVコネクタタイプを設定する

「燃費タイプ」設定(28ページ)で「電気」を選択した場合に、EVコネクタタイプを設定してください。

設定項目:

EVコネクタタイプ

設定値:

不明(初期設定値) / J1772 / Mennekes / CHAdeMO / CCS1 / CCS2 / テスラ ロードスター / テスラ HPWC / テスラ スーパーチャージャー / GB/T / その他

車両情報を確認する

システム設定メニュー画面で「**車両情報**」を選択します。車両情報では、カメラ1(リアカメラ)、カメラ2、ドライブレコーダー、GPSアンテナ、GPS情報、パーキング、車速パルス、リバース、バッテリー電圧の接続状態を確認できます。

設定項目:

車両情報

車両情報画面が表示されます。



- 車両によっては、車両情報を確認できない場合があります。

情報/更新

システム設定メニュー画面で「**情報/更新**」を選択します。

「**情報/更新**」を使用すると、本機のシリアル番号、モデル名を確認したり、ソフトウェアバージョンのアップデートやさまざまな設定を初期化したりできます。

製品情報を表示する

この製品のバージョン情報を表示できます。この情報をメモし、アルパイン・インフォメーションセンターに連絡してください。

設定項目:

シリアルNo. / モデル名

USBメモリーでソフトウェアバージョンをアップデートする

アルパインWebサイトからソフトウェアをダウンロードし、USBメモリーを使用して製品を更新します。

設定項目:

ソフトウェア Ver.

- 1 アップデートファイルを格納したUSBメモリーを本機のUSB 接続ケーブル(黒)に接続する
- 2 「ソフトウェア Ver.」の[更新]をタッチする
- 3 確認メッセージが表示されたら、[OK]をタッチする
- 4 ソフトウェア更新画面が表示されたら、[更新]をタッチする
ソフトウェアアップデートが完了すると、システムが再起動します。

- システムの再起動が完了するまでは本機の電源をOFFにしないでください。

Wi-Fi接続でソフトウェアをアップデートする

Wi-Fi経由でアルパインWebサイトに接続し、製品のソフトウェアを更新します。

事前に安定なインターネット接続でWi-Fiアクセスポイントに接続を行ってください。Wi-Fi接続については、「Wi-Fiアクセスポイントに接続する」(15ページ)を参照してください。

- 更新のご案内などのためにアルパインホームページで「お客様登録」を行ってください。
アルパインホームページ <https://www.alpine.co.jp>
- ダウンロード操作は停止中にのみ操作が可能です(走行中は操作できません)。
- ダウンロード中に走行を開始すると、ダウンロードが中断されます。
- Wi-Fi接続が切断された場合は、Wi-Fiを再接続すると、途中からダウンロードを再開できます。
- ダウンロード中は、音切れなど一部の機能が制限される場合があります。
- ソフトウェアの更新にかかる時間は、ソフトウェアの更新のサイズによって異なります。

設定項目:

ソフトウェア更新(OTA)

- 1 [ソフトウェア更新(OTA)]をタッチする
- 2 新しいソフトウェアが利用可能になったら[ダウンロード]をタッチする
- 3 確認メッセージが表示されたら、[はい]をタッチする

ダウンロードが開始されます。

- ダウンロード中に[キャンセル]をタッチするとダウンロードを一時停止できます。一時停止中にダウンロードを再開する場合は[ダウンロード再開]にタッチします。また、[削除]にタッチするとダウンロード途中のデータを削除できます。
- 4 ダウンロードが完了すると確認メッセージが表示されます。[はい]をタッチする
- 更新ファイルの確認が終了すると、ソフトウェア更新画面が表示されます。

- すぐにアップロードしないときは、[いいえ]をタッチします。アップロードを再開するときは、次回サーバーに接続されたときに最新のダウンロードデータがある場合は、アップロード画面が表示されるので[更新]をタッチします。

- 5 ソフトウェア更新画面が表示されたら、[更新]をタッチする

- 6 確認メッセージが表示されたら、[はい]をタッチする

- 7 アップロードが完了すると確認メッセージが表示されます。[OK]をタッチする

ソフトウェアアップデートが完了すると、システムが再起動します。

自動ソフトウェア更新チェックを設定する

本機をWi-Fiアクセスポイントに接続すると更新情報を自動的に確認することができます。
安定なインターネット接続でWi-Fiアクセスポイントに接続します。詳しくは「Wi-Fiモードを設定する」, 「Wi-Fiアクセスポイントに接続する」(15ページ)を参照してください。

設定項目:

ソフトウェア自動更新案内

「ソフトウェア自動更新案内」の[](Off)または[](On)をタッチする

- この設定は、本機がWi-Fiアクセスポイントに接続されている場合にのみ使用できます。
- サーバー内に最新のソフトウェアがある場合は、メッセージが表示されます。[はい]を選択するとダウンロード画面を表示します。以降の操作は「Wi-Fi接続でソフトウェアをアップデートする」(30ページ)の手順2～7を参照してください。
- 最新のダウンロードデータが存在する場合、メッセージが表示されます。[はい]をタッチしてアップロード画面を表示し、[更新]をタッチします。以降の操作は、「Wi-Fi接続でソフトウェアをアップデートする」(30ページ)の手順5～7を参照してください。
- もし一時停止中のダウンロードデータがある場合は、メッセージが表示されます。[はい]を選択するとダウンロード再開画面を表示します。ダウンロードを再開する場合は[ダウンロード再開]にタッチします。以降の操作は、「Wi-Fi接続でソフトウェアをアップデートする」(30ページ)の手順4～7を参照してください。

車種専用チューニング

一部の車種に限りませんが、アルパインWebサイトから車種データをダウンロードして設定できます。USBメモリーを使用して本機にインストールしてください。

- 車種データ設定はオープニングイメージ、車種専用サウンド、カメラ接続設定、カメラガイド線などの内容を設定できます。

設定項目:

車種専用チューニング

- 1 アップデートファイルを格納したUSBメモリーを本機のUSB 接続ケーブル(黒)に接続する

- 2 「車種専用チューニング」の[更新]をタッチする

3 確認メッセージが表示されたら、[OK]をタッチする

- システムの再起動が完了するまでは本機の電源をOFFにしないでください。

ソフトウェアライセンスを表示する

設定項目:

OSSライセンス

音質設定を初期化する

EQ設定^{*}、X-OVER^{*}、時間補正^{*}、Media Xpander (MX)、bass engine SQの設定を初期化します。

設定項目:

全音質設定初期化

1 「全音質設定初期化」の[初期化]をタッチする

2 確認メッセージが表示されたら、[OK]をタッチする

初期化が開始されます。

※ プリセット1～プリセット3に保存されている設定値は初期化されません。

- 一度消去したものは復活できませんのでご注意ください。

全設定項目を初期化する

本機で設定したすべての項目の設定値を初期化します。USBメモリーを取り出してから操作を行ってください。

設定項目:

全設定項目初期化

1 「全設定項目初期化」の[初期化]をタッチする

2 確認メッセージが表示されたら、[OK]をタッチする

3 確認画面が表示されたら[OK]にタッチする

初期化が開始されます。

- システムの再起動が完了するまでは本機の電源をOFFにしないでください。
- 一度消去したものは復活できませんのでご注意ください。

音質調整

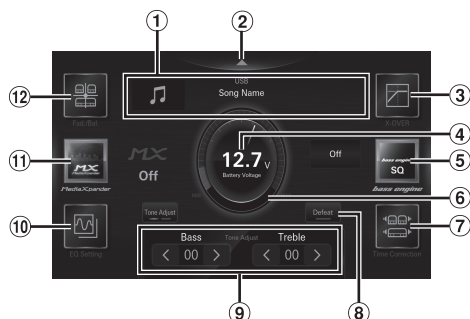
HOME画面および各オーディオソース画面の中央上部の[▼]をタッチする

音質調整画面が表示されます。



- Home画面を表示中に 品 (HOME) にタッチしても音質調整画面を表示することができます。

■ 音質調整画面



- 現在のソース情報が表示されます。
- タッチすると前の画面に切りかわります。
- X-OVER(34ページ)
- バッテリー電圧表示
- bass engine SQ(35ページ)
- 音量インジケータ
- Time Correction(34ページ)
- ディフェルト(Default)(36ページ)
- Tone Adjust (Bass/Treble)(35ページ)、Sub Woofer Level(36ページ)
- EQ Setting(32ページ)
- Media Xpander(32ページ)
- Fader/Balance/リススピーカー /Subwoofer (33ページ)

Media Xpander(MX)を設定する

音質調整画面で[Media Xpander]を選択します。映像の音声を聞き取りやすくしたり、音楽をメリハリのある音で再生したりするなど、音声や楽器の音をメディアごとに際立たせて再生することができます。

設定項目:

Media Xpander

設定値:

OFF(初期設定値) / MX 1 / MX 2 / MX 3

1 [Media Xpander]にタッチする

2 [Media Xpander]をタッチして、レベルを切りかえる

OFF → MX 1 → MX 2 → MX 3 → OFF

メディア	レベル			
COMPRESS MEDIA	OFF	MX 1	MX 2	MX 3
FM	OFF	MX 1	MX 2	MX 3
AM	OFF	—	—	—
外部入力	OFF	MX 1	MX 2	MX 3
HDMI	OFF	MX 1	MX 2	MX 3

- MXレベルは1→2→3の順で効果が大きくなります。
- USBオーディオ/ビデオ、iPod、Bluetoothオーディオ、Apple CarPlay、Android Autoは「COMPRESS MEDIA」に割り当てられます。
- ディフィート(Defeat)が[On]のときは設定できません。
- bass engine SQが設定されているときは設定できません。
- Media Xpander設定画面で約3秒以上操作を行わなかった場合は、音質調整画面に戻ります

イコライザーを設定する(EQ Setting)

音質調整画面で[EQ Setting]を選択します。EQ Settingには、「詳細モード」、「シンプルモード」、「Bass Max EQ」の3つのモードがあります。

- ディフィート(Defeat)が[On]のときは設定できません。
- bass engine SQが設定されているときは設定できません。

パラメトリックEQ(詳細モード/シンプルモード)を調整する

Parametric EQ(パラメトリックEQ)は、中心周波数・Q(帯域幅)・レベルをそれぞれ調整できるので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正や音創りを行うことができます。

本機では4種類のスピーカーの設定が可能な「詳細モード」と、2種類のスピーカーの設定が可能な「シンプルモード」があります。

■ 詳細モード



■ シンプルモード



1 [EQ Setting]にタッチする

2 [詳細モード]または[シンプルモード]にタッチして、イコライザーモードを選択する

3 調整したいスピーカーを選ぶ

詳細モード: 左フロント / 右フロント / 左リア / 右リア / Subw.

シンプルモード: フロント / リア / Subw.

4 [チャンネル]をタッチして、調整するチャンネルを選択する

チャンネル1 → チャンネル2 → ... → チャンネル12 → チャンネル13 → チャンネル1

- 調整したいチャンネルのエリアにタッチしてもチャンネルを選択できます。

5 「周波数」の[<]または[>]をタッチして、選択したチャンネルの周波数を調整する

調整可能な周波数帯:

20Hz ~ 40kHz(1/3オクターブステップ)

チャンネル1: 20Hz ~ 100Hz(63Hz)

チャンネル2: 63Hz ~ 315Hz(125 Hz)

チャンネル3: 100Hz ~ 500Hz(200Hz)

チャンネル4: 160Hz ~ 800Hz(315Hz)

チャンネル5: 250Hz ~ 1.25kHz(500Hz)

チャンネル6: 315Hz ~ 1.6kHz(630Hz)

チャンネル7: 500Hz ~ 2.5kHz(1kHz)

チャンネル8: 1kHz ~ 5kHz(2kHz)

チャンネル9: 1.6kHz ~ 8kHz(3.15kHz)

チャンネル10: 2.5kHz ~ 12.5kHz(5kHz)

チャンネル11: 4kHz ~ 20kHz(8kHz)

チャンネル12: 6.3kHz ~ 31.5kHz(12.5kHz)

チャンネル13: 10kHz ~ 40kHz(20kHz)

6 「レベル」の[一]または[+]をタッチして、選択したチャンネルのレベルを調整する

設定レベル:

-9 ~ +9(初期設定値:0)

7 「Q調整」の[<]または[>]をタッチして、選択したチャンネルの帯域幅を調整する

設定値:

1(初期設定値)/2/3

8 手順3 ~ 7を繰り返し、すべてのスピーカーを調整する

9 調整した設定値を保存するには、[プリセット1][プリセット2][プリセット3]のいずれかを2秒以上タッチし続ける

- チャンネル2およびチャンネル11は、BassおよびTrebleのコントロールと同じです。BassとTrebleの設定については、「Bass(低音)/Treble(高音)を調整する」(35ページ)を参照してください。
- 隣り合うチャンネルの周波数を超えて設定することはできません。
- パラメトリックEQを調整するときは、接続されているスピーカーの周波数応答を考慮する必要があります。
- パラメトリックEQ設定時は、Bass Max EQの設定は解除されます
- [フラット]をタッチすると、設定した内容をフラットの状態にすることができます。

パラメトリックEQ設定値を呼び出す

保存したパラメトリックEQの設定値を呼び出します。

パラメトリックEQ画面で[プリセット1][プリセット2][プリセット3]のいずれかをタッチする

プリセットに保存されている設定が呼び出されます。

Bass Max EQを設定する

あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、お好みの音質に設定できます。



設定項目:

Bass Max EQ

設定値:

FLAT / POP / ROCK / NEWS / JAZZ /
ELECTRONIC / HIP HOP / EASY LISTENING /
COUNTRY / CLASSICAL

- Bass Max EQで各音響特性を選択すると選択したEQカーブがパラメトリックEQへ反映されます。

Fader(フェダー)/Balance(バランス)/リアスピーカー /Subwoofer (サブウーファー)を設定する

音質調整画面で[Fad./Bal.]を選択します。



① バランスポイント

Fader/Balanceを調整する

前後・左右のスピーカーの音量バランスを別々に調整することにより、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

バランスポイントのお好みのポイントにタッチするか、[∧](フロント)、[∨](リア)、[<](左側)、[>](右側)をタッチして調整する

設定値:

Fader: F15 ~ R15 (初期設定値:0)
Balance: L15 ~ R15 (初期設定値:0)

- 初期設定に戻すには、[センター]をタッチしてください。

リアスピーカーを設定する

リアスピーカーのON/OFFを設定します。

設定項目:

リアスピーカー

設定値:

On (初期設定値) / Off

Subwoofer(サブウーファー)を設定する

サブウーファーのON/OFFを設定します。

設定項目:

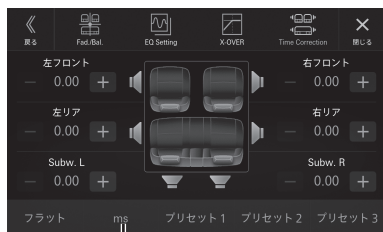
Subwoofer

設定値:

On / Off (初期設定値)

Time Correction(タイムコレクション)を設定する

音質調整画面で[Time Correction]を選択します。Time Correction(タイムコレクション)は音が各スピーカーから耳に届くまでの時間を補正し、距離の違いによって生じる到達時間差を調整することができます。



補正モード

設定項目:

Time Correction

- 1 [Time Correction]にタッチする
- 2 補正モードスイッチをタッチし、[ms]、[cm]、[inch]を選択する

- 3 各スピーカーの[ー]または[+]をタッチして、時間または距離を調整する

0.00ms ~ 20.00ms (0.02ms/ステップ)

0.0cm ~ 680.0cm (0.68cm/ステップ)

0.0インチ ~ 268.0インチ (0.268インチ/ステップ)

すべてのスピーカー設定値は、20.0ms、680.0cm または 268.0インチの範囲で調整可能です。

- 4 調整した設定値を保存するには、[プリセット1]、[プリセット2]、[プリセット3]のいずれかを2秒以上タッチし続ける

- [フラット]をタッチすると、設定した内容を「0」の状態にすることができます。
- リアスピーカー設定(34ページ)が[Off]の場合は、リアスピーカーのTime Correction設定はできません。
- サブウーファー設定(34ページ)が[Off]の場合は、サブウーファーのTime Correction設定はできません。

タイムコレクション設定値を呼び出す

保存したタイムコレクションの設定値を呼び出します。

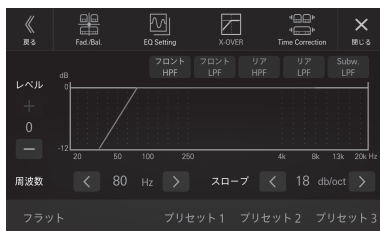
タイムコレクション画面で[プリセット1][プリセット2][プリセット3]のいずれかをタッチする

プリセットに保存されている設定が呼び出されます。

X-OVER(クロスオーバー)を設定する

音質調整画面で[X-OVER]を選択します。

X-OVER(クロスオーバー)は、HPF(ハイパスフィルター)とLPF(ローパスフィルター)を設定することで好みの音響空間を再現することができます。



設定項目:

X-OVER

- 1 [X-OVER]にタッチする
- 2 [フロントHPF][フロントLPF][リアHPF][リアLPF][Subw. LPF]にタッチして調整するチャンネルを選ぶ

3 「周波数」の[<]または[>]をタッチして、カットオフ周波数を選択する

設定値:

フロントHPF: 20 / 25 / 31.5 / 40 / 50 / 63 / 80 (初期設定値) / 100 / 125 / 160 / 200 / 250Hz

フロントLPF: 4k / 5k / 6.3k / 8k (初期設定値) / 10k / 12.5k / 16k / 20kHz

リアHPF: 20 / 25 / 31.5 / 40 / 50 / 63 / 80 (初期設定値) / 100 / 125 / 160 / 200 / 250Hz

リアLPF: 4k / 5k / 6.3k / 8k (初期設定値) / 10k / 12.5k / 16k / 20kHz

Subw. LPF: 20 / 25 / 31.5 / 40 / 50 / 63 / 80 (初期設定値) / 100 / 125 / 160 / 200 / 250Hz

4 「スロープ」の[<]または[>]をタッチして、HPFまたはLPFのスロープを調整する

設定値:

0 (初期設定値) / 6 / 12 / 18 / 24dB/oct

5 「レベル」の[－]または[＋]をタッチして、HPFまたはLPFのレベルを調整する

設定値:

-12 ~ 0dB (初期設定値: 0)

6 別のチャンネルを調整するには、手順2～5を繰り返す、すべてのチャンネルを調整する

7 調整した設定値を保存するには、[プリセット1] [プリセット2] [プリセット3]のいずれかを2秒以上タッチし続ける

- [フラット]をタッチすると、設定した内容を「0」の状態にすることができます。
- 接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。
- リアスピーカー設定(34ページ)が[Off]の場合は、リアスピーカーのX-OVER設定はできません。
- サブウーファー設定(34ページ)が[Off]の場合は、サブウーファーのX-OVER設定はできません。

X-OVER設定値を呼び出す

保存したX-OVERの設定値を呼び出します。

X-OVER画面で[プリセット1] [プリセット2] [プリセット3]のいずれかをタッチする

プリセットに保存されている設定が呼び出されます。

bass engine SQを設定する

音質調整画面で[bass engine SQ]を選択します。
お好みの「bass engine」タイプを設定できます。

設定値:

Type: Off (初期設定値) / Standard / midbass / Rich / Lowbass / Punch
Level: 0 ~ 6

1 [bass engine SQ]にタッチする

2 [bass engine SQ]をタッチして、タイプを切りかえる

Off → Standard → midbass → Rich → Lowbass → Punch → Off

3 BASS ENGINE Levelの[－]または[＋]をタッチして、レベルを調整する

- bass engine SQ設定画面で約3秒以上操作を行わなかった場合は、音質調整画面に戻ります。
- ディフィート(Defeat)が[On]のときは設定できません。

Bass(低音)/Treble(高音)を調整する

設定項目:

Bass、Treble

設定値:

Bass: -18 ~ 18 (初期設定値: 00)
Treble: -18 ~ 18 (初期設定値: 00)

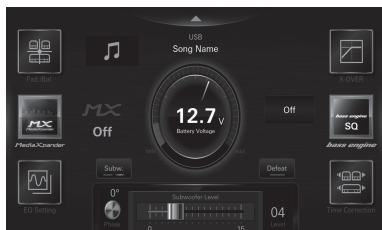
BassまたはTrebleの[<]または[>]をタッチして、レベルを調整する

- BassおよびTrebleの調整値は、EQ Setting(32ページ)のチャンネル2およびチャンネル11のレベルに反映されます。EQ Settingのチャンネル2およびチャンネル11のレベルによって、BassまたはTrebleの調整範囲が変わります。
- Bass、Trebleが表示されていないときは、[Subw.]をタッチしてTone Adjustモードに切りかえてください。
- bass engine SQが設定されている場合は調整できません。

サブウーファーを設定する

Touch [Tone Adjust].

Subwoofer Level設定画面が表示されます。



サブウーファーレベルを調整する

サブウーファーレベルを調整することができます。

設定項目:

Subwoofer Level

設定値:

0 ~ 15 (初期設定値: 0)

レバーを左右にスライドさせてレベルを調整する

- サブウーファー設定(34ページ)が[On]に設定されている場合にのみ、設定ができます。

サブウーファーの位相を設定する

サブウーファーのお好みの位相を設定することができます。

設定項目:

Phase

設定値:

0° (初期設定値) / 180°

[Phase]にタッチして、サブウーファーの位相を切りかえる

- サブウーファー設定(34ページ)が[On]に設定されている場合にのみ、設定ができます。

Defeat(ディフィート)を設定する

Defeatを[On]に設定すると、Media Xpander、EQ、bass engine SQ設定がOffになり、これらの機能に対して行われた設定が無効になります。

設定項目:

Defeat

[Defeat]にタッチする

Defeatが[On]に設定されている場合、インジケータが点灯します。

Apple CarPlay

Apple CarPlayは、よりスマートに、より安全に車内でiPhoneを使用することができます。

道順を調べたり、電話をかけたり、メッセージを送受信したり、音楽を聴いたりすることができます。また、Siriの音声コントロールを使ってiPhoneの操作が可能です。

- Apple CarPlayでできることの詳細については、AppleのWebサイトでご確認ください。

Apple CarPlayの利用を開始する

Apple CarPlayを利用するには、iPhoneの「設定」でApple CarPlayとSiriを有効にしてください。

Apple CarPlayを使用するには、Lightning-USBケーブル(iPhoneに付属)を使用してiPhoneを本機に接続するか、ワイヤレス接続を行ってください。ワイヤレス接続については、「Bluetooth®機器を接続する」(14ページ)および「Wi-Fiモードを設定する」(15ページ)を参照してください。

1 部品(HOME)スイッチを押す

HOME画面が表示されます。

2 [Apple CarPlay]をタッチする

Apple CarPlay画面が表示されます。



[Apple CarPlay]スイッチ

- ワイヤレス接続でCarPlayを使用しているときに、他のiPhoneをUSBで接続した場合は、メッセージ画面が表示されます。iPhoneを切りかえる場合は[はい]にタッチしてください。
- Apple CarPlayモード中にAndroid Auto対応スマートフォンをUSBで接続した場合は、メッセージが表示されます。Android Auto対応スマートフォンは充電のみ可能になります。Android Autoに切りかえる場合は、Device Listから切りかえを行ってください。詳しくは、「接続機器リストに登録している機器を接続する」(14ページ)を参照してください。
- 本機画面に表示されるアプリは接続するiPhoneによって異なります。

- 本機で利用できるiPhoneは、Apple CarPlay対応のiPhone 6s以降のみです。
- 運転中は一部の機能が利用できない場合があります。
- iPhoneは車の中に放置したままにしないでください。車室内の熱による故障の原因になります。

音声認識(Siri)を使う

Siriを起動します。

1 音声認識(Siri)スイッチを押す

Siriが起動します。

2 希望の操作を発話する

3 Siriモードを終了するには、音声認識(Siri)スイッチを押す

- iPhoneによっては、Siri機能が自動的に終了する場合があります。
- 音声認識の音量の調整については、「音声認識の音量を調整する」(18ページ)を参照してください。

Android Auto

Android Autoは、運転にもっと集中できるように運転中でもAndroidスマートフォンを使用することができます。

道順を調べたり、電話をかけたり、音楽を聴いたりすることができます。また、音声操作でさまざまな便利な機能をお使いいただけます。

Android Autoの利用を開始する

あらかじめGoogle PlayストアからAndroid AutoアプリをAndroidスマートフォンにダウンロードしてください。

Androidスマートフォンを本機のUSBコネクタに接続してください。

1 品物 (HOME)スイッチを押す

HOME画面が表示されます。

2 [Android Auto]をタッチする

Android Auto画面が表示されます。



[Android Auto]スイッチ

- Android Autoでできることの詳細については、AndroidのWebサイトでご確認ください。
- Android Autoは、Androidバージョンが6.0以降のAndroidスマートフォンで使用できます。
- ドライバーの安全対策が講じられているGoogle承認のアプリのみを使用できます。運転中は一部の機能が利用できない場合があります。
- 運転中はAndroidスマートフォンの接続や取り外し、操作はしないでください。事故やケガの原因になります。
- Androidスマートフォンは車の中に放置したままにしないでください。車室内の熱による故障の原因になります。

音声認識を使う

Android Autoの音声認識機能を利用できます。

1 音声認識 (音声認識)スイッチを押す

音声認識が起動します。

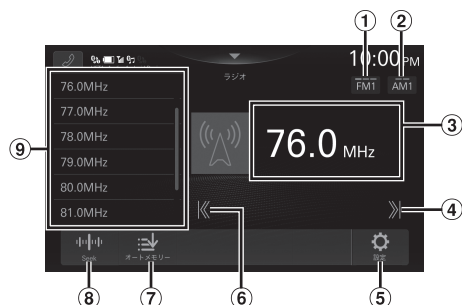
2 希望の操作を発話する

3 音声認識モードを終了するには、音声認識 (音声認識)スイッチを押す

- スマートフォンによっては、音声認識機能が自動的に終了する場合があります。
- 音声認識の音量の調整については、「音声認識の音量を調整する」(19ページ)を参照してください。

ラジオ

■ ラジオ画面表示例



- ① FMバンドの切りかえ (FM1/FM2/FM3)
- ② AMバンドの切りかえ (AM1/AM2)
- ③ インフォメーション表示
- ④ 周波数を上げる
タッチし続けると連続で周波数が切りかわります。
- ⑤ ラジオ設定画面 (19ページ) を表示
- ⑥ 周波数を下げる
タッチし続けると連続で周波数が切りかわります。
- ⑦ 自動的に放送局を記憶
- ⑧ チューニングモードの切りかえ
- ⑨ プリセットスイッチ
記憶した放送局を受信します。
2秒以上タッチすると現在の放送局を記憶します。

ラジオを聴く

- 1 **品** (HOME)スイッチを押して、ラジオを選択する
ラジオ画面が表示されます。
- 2 **[FM○]**または**[AM○]**を繰り返しタッチしてバンドを選択する
FM1 → FM2 → FM3 → FM1
AM1 → AM2 → AM1
- 3 **[中]**を繰り返しタッチしてチューニングモードを選択する
Seek → Manual → プリセット → Seek

Seekモード: 受信可能な放送局を自動で受信します。
Manualモード: 1段階ずつ周波数が変わります。
プリセットモード: 記憶した放送局の中から受信できる放送局を切りかえます。

4 **[<<]**または**[>>]**をタッチして、放送局(周波数)を探す

Manualモードでは、タッチし続けると周波数が連続で切りかわります。

- ・ **[<<]**、**[>>]**スイッチでも同じ操作ができます。

放送局を記憶する

- 1 記憶させたい放送局を受信する
 - 2 記憶させたいプリセットスイッチを2秒以上タッチする
放送局が記憶されます。
- ・ 放送局は60局まで記憶できます。
FM1:12局、FM2:12局、FM3:12局、AM1:12局、AM2:12局
 - ・ すでに記憶されているプリセットスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動で放送局を記憶させる(オートメモリー)

バンドを選び、**[オートメモリー]**を2秒以上タッチし続ける

自動選局を開始します。

電波の強い順に12の放送局が自動的に受信されてプリセットスイッチに記憶されます。記憶が終わるとプリセットスイッチの1番上に記憶した放送局が受信されます。

- ・ 受信電波の弱い地域では、オートメモリーでの自動受信ができない場合があります。放送局を1つも受信(記憶)できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。
- ・ 放送局を探しているときに**[オートメモリー]**をタッチすると、オートメモリーをキャンセルできます。キャンセルすると、プリセット内容は以前の設定に戻ります。

記憶した放送局を呼び出す

あらかじめ記憶されている放送局を選んで受信します。

バンドを選び、希望のプリセットスイッチをタッチする

選択した放送局が受信されます。

交通情報を受信する

- 1  (HOME)スイッチを押して、[交通情報]をタッチする

交通情報画面が表示されます。

- 2 [1620kHz]または[1629kHz]にタッチする

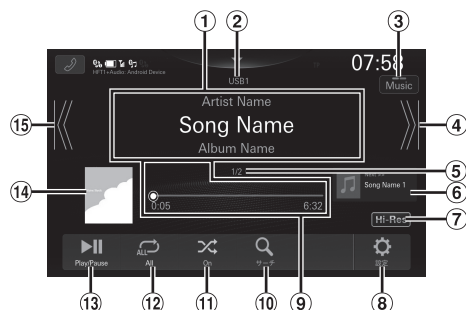
- 交通情報を行っている地域に合わせて周波数を切りかえてください。

USBメモリー

USBメモリーに保存している音楽ファイル(MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV/APE)やビデオファイル(MP4/MOV/FLV/MKV)を再生することができます。

USBオーディオ

■ USBオーディオモード画面例



- ① インフォメーション表示
- ② USB1/USB2表示
- ③ USB Videoモードに切りかえ
- ④ アップスイッチ
次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。
- ⑤ 現在の曲番号/全曲数
- ⑥ 次に再生する曲の情報表示
- ⑦ Hi-Resアイコン
 - Hi-Res ファイルを再生時、以下の条件を全て満たした場合は、Hi-Resアイコンを再生画面に表示します。
 - 拡張子: .flac/.fla/.wav
 - サンプリング周波数: 96kHz以上
 - 量子化ビット数: 24bit以上
- ⑧ USB設定メニュー画面(19ページ)を表示
- ⑨ タイムバー(経過時間/合計再生時間)
- ⑩ サーチ画面を表示
- ⑪ シャッフルモード
- ⑫ リピートモード
- ⑬ 再生/一時停止
- ⑭ アートワーク表示
- ⑮ ダウンスイッチ
再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

再生

1 [] (HOME)スイッチを押して、USBモードを選択する

USBモード画面が表示されます。

- USBビデオモードからUSBオーディオモードに切りかえるときは、[Video]をタッチしてUSBオーディオモードに切りかえます。

2 [K]または[]をタッチして、希望の曲(ファイル)を選択する

現在(または直前)の曲(ファイル)の頭に戻る:

[K]をタッチする

早戻し:

[K]をタッチし続ける

次の曲(ファイル)の頭に進む:

[]をタッチする

早送り:

[]をタッチし続ける

- ◀◀、▶▶スイッチでも早送りまたは早戻しができます。
- タイムバーをタッチするか、スライドしても早送りまたは早戻しができます。

3 再生を一時停止するには、[]をタッチする

再度、[]にタッチすると、再生を再開します。

- タグ情報がある場合は、アーティスト名、アルバム名および曲名が表示されます。
- ID3 tag
MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV/APEファイルに、ID3タグの情報が含まれる場合は、ID3タグの情報が表示されます。(例:曲名、アーティスト名およびアルバム名)

リピート再生

[ALL]、[]または[]をタッチして、リピート再生モードを選択する

All [ALL]: 全ファイルを繰り返し再生します。

File []: 現在再生中のファイルのみを繰り返し再生します。

Folder []: フォルダ内のファイルのみを繰り返し再生します。

シャッフル再生

[]をタッチして、シャッフル再生モードを選択する

On []: 選択したカテゴリ(アーティスト、アルバムなど)の曲がランダムに再生されます。カテゴリ内の曲は、すべての曲が再生されるまで1回だけ再生されます。

Off []: シャッフル再生は無効です。

音楽ファイルをサーチする

本機は、以下のサーチ機能を使用して、さまざまな検索を行うことができます。

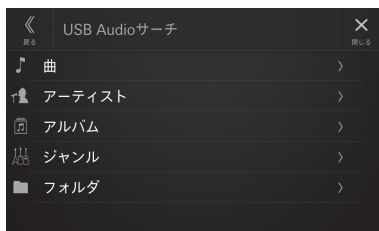
曲/アーティスト/アルバム/ジャンル/フォルダといったサーチモードの個々の階層を使用して、以下の表に示すようにサーチを絞り込むことができます。

<音楽サーチメニュー>

階層1	階層2	階層3	階層4
曲	—	—	—
アーティスト	アルバム	曲	—
アルバム	曲	—	—
ジャンル	アーティスト	アルバム	曲
フォルダ	ファイル	—	—

例:アーティスト名でサーチ

以下の例を用いて、アーティストサーチの実施方法を説明します。



1 再生中に[Q](サーチ)をタッチする

2 [アーティスト]をタッチする

アーティストサーチ画面が表示されます。

3 希望のアーティストを選択する

4 希望のアルバム名をタッチする

選択したアルバムの全曲が表示されます。

5 希望の曲名をタッチする

選択した曲が再生されます。

USBビデオ

本機が対応しているビデオ形式(USBメモリー)は以下の通りです。

- 対応するフォーマット:MP4/MOV/FLV/MKV
- 対応するビデオコーディング:MPEG-4/H.263/H.264 (MPEG-4 AVC)/MPEG-1/MPEG-2
- 対応するオーディオコーディング:MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/APE

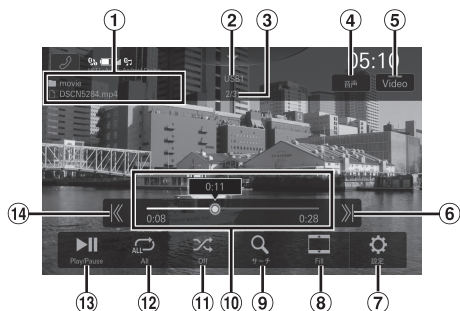
警告

車両を運転中にドライバーがビデオを見るのは危険です。ドライバーの前方への注意がそがれ、事故に至るおそれがあります。

車両を停止しパーキングブレーキをかけている場合を除き、ドライバーがビデオを見ることができないように、本機を正しく設置してください。

本機を正しく設置していない場合、ドライバーが運転中にビデオを見ることが可能になり、前方への注意がそがれ、事故に至るおそれがあります。また、ドライバーや他の人々を巻き込み重傷を負うおそれがあります。

■ USBビデオモード操作画面例



- ① フォルダ名/ファイル名
- ② USB1/USB2表示
- ③ 現在のファイル番号/全ファイル数
- ④ 収録音声を切り換え(MKVファイルの再生中のみ)
- ⑤ USBオーディオモードに切り換え
- ⑥ アップスイッチ
次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。
- ⑦ USB設定メニュー画面(19ページ)を表示
- ⑧ 画面サイズを切り換え

- ⑨ サーチ画面を表示
- ⑩ タイムバー(経過時間/合計再生時間)
- ⑪ シャッフルモード
- ⑫ リピートモード
- ⑬ 再生/一時停止
- ⑭ ダウンスイッチ
再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

再生

- 1  (HOME)スイッチを押して、USBモードを選択する
USBモード画面が表示されます。
 - ・USBオーディオモードからUSBビデオモードに切りかえるときは、[Music]をタッチしてUSBビデオモードに切りかえます。
- 2 再生中に画面をタッチする
USBビデオ操作画面が約5秒間表示されます。
- 3 [⏮]または[⏭]をタッチして、希望のファイルを選択する

現在(または直前)のファイルの頭に戻る:

[⏮]をタッチする

次のファイルの頭に進む:

[⏭]をタッチする

- ・◀◀、▶▶スイッチでもファイルを選択できます。

- 4 再生を一時停止するには、[⏮]をタッチする
再度、[▶▶]にタッチすると、再生を再開します。

- ・安全のため、運転中は映像は表示されず、音声のみが聞こえます。

早送り/早戻し

- 1 再生中に[⏮] (早戻し)または[⏭] (早送り)をタッチし続ける
 - ・1秒以上押し続けると、2倍速で早送りまたは早戻しします。そのままタッチし続けると、速度が3倍速、8倍速、16倍速、32倍速に切りかわります。
- 2 [⏮]または[⏭]から指を離すと通常の再生に戻ります。
 - ・◀◀、▶▶スイッチでも早送りまたは早戻しができます。

- タイムバーをタッチするか、スライドしても早送りまたは早戻しができます。

リピート再生

[]、[]または[]をタッチして、リピート再生モードを選択する

- All : 全ファイルを繰り返し再生します。
 File : 現在再生中のファイルのみを繰り返し再生します。
 Folder : フォルダ内のファイルのみを繰り返し再生します。

シャッフル再生

をタッチして、シャッフル再生モードを選択する

- On : 選択したカテゴリ(フォルダなど)のファイルがランダムに再生されます。カテゴリ内のファイルは、すべてのファイルが再生されるまで1回だけ再生されます。
 Off : シャッフル再生は無効です。

希望のファイルをサーチする

1 [](サーチ)をタッチする

2 希望のフォルダ名またはファイル名をタッチする

- フォルダ名を選択し、同じ手順を繰り返して別のフォルダ名やファイル名を選択してください。

画面サイズを切りかえる

ビデオファイルの再生中に画面サイズを切りかえることができます。

画面サイズ切りかえスイッチを繰り返しタッチして画面サイズを選択する

Fit → Fill → Fit



画面サイズ切りかえスイッチ

- 画面サイズ切りかえスイッチは、現在選択されているモードを表示します。
- 運転中は操作できません。

Fit: ディスプレイのサイズに合わせて縦横にサイズが合うように画像が表示されます。
 Fill: 画像の上下を切り取り、画面全体に拡大表示します。

音声を切りかえる

映像に複数の音声記録されている場合は、再生中または一時停止中に音声を切りかえることができます。

[音声]をタッチする

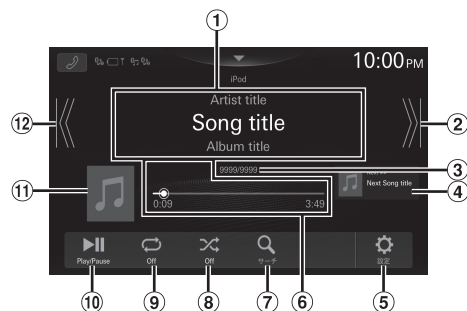
タッチするたびに、収録されている音声順番に切りかわります。画面に音声の番号が表示されます。

iPodモード(iPhone)

iPhoneに付属のLightning USBケーブルが必要です。

- 本機で利用できるiPhoneは、iPhone 6s以降のみです。
- 本機は、iPhoneからのビデオ再生に対応していません。
- iPhoneのインターネットや電話機能などは本機からは制御できませんが、iPhone自体で制御できます。
- iPhoneを接続するとApple CarPlayモードになります。iPhoneをiPodモードで使用する場合は、iPhone側のCarPlay設定を「オフ」にしてください。

■ iPodモード画面例



- ① インフォメーション表示※
- ② アップスイッチ
次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。
- ③ 現在の曲番号/全曲数
- ④ 次に再生する曲の情報表示
- ⑤ iPod設定メニュー画面(20ページ)を表示
- ⑥ タイムバー(経過時間/合計再生時間)
- ⑦ サーチ画面を表示
- ⑧ シャッフルモード
- ⑨ リピートモード
- ⑩ 再生/一時停止
- ⑪ アートワーク表示
- ⑫ ダウンスイッチ
再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

※ ポッドキャストモード

再生

- 1 **⏮ (HOME)スイッチを押して、iPodモードを選択する**
iPodモード画面が表示されます。
- 2 **【⏮】または【⏭】をタッチして、希望の曲(ファイル)を選択する**
現在(または直前)の曲(ファイル)の頭に戻る:
【⏮】をタッチする
早戻し:
【⏮】をタッチし続ける
次の曲(ファイル)の頭に進む:
【⏭】をタッチする
早送り:
【⏭】をタッチし続ける
 - ⏮、⏭ スイッチでも早送りまたは早戻しができます。
 - タイムバーをタッチするか、スライドしても早送りまたは早戻しができます。
- 3 **再生を一時停止するには、【⏮】をタッチする**
再度、【⏭】にタッチすると、再生を再開します。

- 本機に接続する前にiPhoneで曲を再生している場合は、本機に接続しても再生を続けます。
- ひとつのオーディオブックには、チャプターが複数ある場合があります。チャプターは、【⏮】または【⏭】をタッチして変えることができます。
- iTunesで作られたアーティスト名、アルバム名、曲名の文字数が極端に多い場合は、本機に接続したときに曲が再生されない場合があります。したがって、最大64文字を推奨します。本機に対する最大文字数は64文字です。
- 文字によっては正しく表示できない場合があります。

音楽ファイルをサーチする

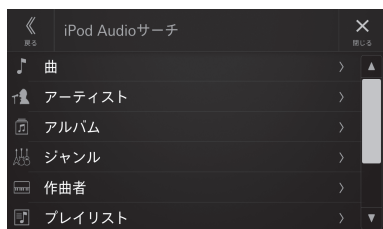
iPhone には数千曲を保存することができます。そのため本機は、以下のサーチ機能を使って、様々なサーチをおこなうことができます。
プレイリスト/アーティスト/アルバム/ポッドキャスト/オーディobook/ジャンル/コンポーザー /曲/ラジオといったサーチモードの個々の階層を使って、以下の表に示すようにサーチを絞り込むことができます。

<音楽サーチメニュー>

階層1	階層2	階層3	階層4
プレイリスト	曲	—	—
アーティスト	アルバム	曲	—
アルバム	曲	—	—
曲	—	—	—
ジャンル	アーティスト	アルバム	曲
コンポーザー	アルバム	曲	—
ポッドキャスト	エピソード	—	—
オーディobook	—	—	—
ラジオ	—	—	—

例:アーティスト名でサーチ

以下の例を用いて、アーティストサーチの実施方法を説明します。



- 1 再生中に[Q](サーチ)をタッチする
- 2 [アーティスト]をタッチする
アーティストサーチ画面が表示されます。
- 3 希望のアーティストを選択する
- 4 希望のアルバム名をタッチする
選択したアルバムの全曲が表示されます。
- 5 希望の曲名をタッチする
選択した曲が再生されます。

リピート再生

[>]をタッチして、リピート再生モードを選択する

All Track すべての曲を繰り返し再生します。

ALL :

Single Track 現在再生中の曲のみを繰り返し再生します。

:

Off : リピート再生は無効です。

シャッフル再生

をタッチして、シャッフル再生モードを選択する

Album : サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番どおりに再生します。

Songs : 選択したカテゴリ(フォルダなど)のファイルがランダムに再生されます。カテゴリ内のファイルは、すべてのファイルが再生されるまで1回だけ再生されます。

Off : シャッフル再生は無効です。

HDMI

iPhoneやスマートフォンまたはビデオカメラなどを本機とHDMI接続し、ビデオ・音楽・写真などを再生することができます。

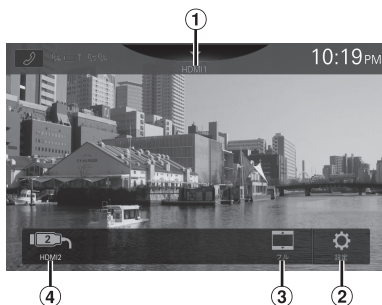
- お使いになるiPhoneやスマートフォン・ビデオカメラによりHDMI接続ケーブルが異なります。お使いになる機種に合う別売のHDMI接続ケーブルをご用意ください。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

警告

車両を運転中にドライバーがビデオを見るのは危険です。ドライバーの前方への注意がそがれ、事故に至るおそれがあります。

車両を停止しパーキングブレーキをかけている場合を除き、ドライバーがビデオを見ることができないように、本機を正しく設置してください。

本機を正しく設置していない場合、ドライバーが運転中にビデオを見ることが可能になり、前方への注意がそがれ、事故に至るおそれがあります。また、ドライバーや他の人々を巻き込み重傷を負うおそれがあります。



① HDMI機器名

- 「HDMI接続機器選択」設定(21ページ)で設定した機器名称が表示されます。

② HDMI設定メニュー画面(21ページ)を表示

③ 画面サイズの切り替え

④ HDMI1/HDMI2スイッチ

- HDMIセクターの設定が[On]の場合に、このスイッチが表示されます。「HDMIセクターを設定する」(21ページ)を参照してください。HDMI1のスイッチ名はHDMI機器名と同じになります。

HDMI入力を切りかえる

別売のHDMIセクターを接続している場合は、HDMI機器を2台まで接続することができます。HDMI機器をHDMI再生中に切りかえることができます。

- 必ず、HDMIセクター設定を[On]に設定してください。「HDMIセクターを設定する」(21ページ)を参照してください。
- HDMI1の表示はHDMI接続機器選択設定によって変わります。「HDMI接続機器を設定する」(21ページ)を参照してください。

[HDMI1]または[HDMI2]をタッチする

- 現在のHDMIモードはHDMI操作画面上部のHDMI機器名で確認することができます。

HDMI操作

■ iPhoneやスマートフォンなど

- HDMI機器の出力は、本機にミラーリングされます。
- 本機からの制御はできません。
- 接続する機器はHDMI出力インターフェースを備えている必要があります。
- お使いになるHDMI機器によって、本機で認識できない場合があります。
- アルバイン専用HDMI接続ケーブルのみを使用してください。

1 品物 (HOME)スイッチを押して、HDMIモードを選択する

HDMIモード画面が表示されます。

2 再生中に画面をタッチし続ける

HDMI操作画面が約5秒間表示されます。

- 安全のため、運転中は映像は表示されず、オーディオのみ聞こえます。

画面サイズを切りかえる

ビデオファイルの再生中に画面サイズを切りかえることができます。

画面サイズ切りかえスイッチを繰り返しタッチして画面サイズを選択する

フル → ノーマル → ワイド → フル

- 画面サイズ切りかえスイッチは、現在選択されているモードを表示します。
- 運転中は操作できません。

フル: ディスプレイのサイズに合わせて縦横にサイズが合うように画像が表示されます。

ノーマル: 4:3の映像を見るときに選択します。画面の両側に黒い帯が表示されます。

ワイド: 画像の上下を切り取り、画面全体に拡大表示します。

Bluetooth

使用前の設定

Bluetoothについて

Bluetoothは、モバイル機器やパソコン間の短い距離の通信を可能にする無線技術です。これにより、Bluetooth対応機器間でのハンズフリー電話やデータ通信が可能になります。機器間の距離が10メートル以内であれば、免許不要2.4GHz帯域におけるBluetooth通信が可能です。詳細はBluetoothのホームページをご参照ください(<https://www.bluetooth.com/>)。

- Bluetoothのバージョンによっては、Bluetooth対応機器が、本機と通信できない場合があります。
- すべてのBluetooth対応機器と本機が正しく機能することは保証できません。Bluetooth対応機器の取り扱いについては、アルパイン販売店またはアルパインのホームページにてご確認ください。
- 周囲の状況によっては、Bluetooth無線接続が不安定になる場合があります。
- 電話をかけた後、設定操作を行ったりする場合には、必ず車を安全な場所に停止させてください。
- 接続するBluetooth対応機器によっては、機能が異なる場合があります。接続する機器の取扱説明書もご確認ください。

ハンズフリー電話について

HFP(ハンズフリープロファイル)対応携帯電話を本機と一緒に使う場合は、ハンズフリーでの電話が可能です。

- 交通渋滞時や狭く曲がりくねった通りでのハンズフリー電話は避けてください。
- 周囲のノイズを抑えるため、通話中は窓を閉めてください。
- 通話している両者ともハンズフリー機器を使っていたり、ノイズのある場所で電話をしったりする場合、他方の声が聞こえにくくなることがあります。
- 電話回線の状態や使用するモバイル機器によっては、声が不自然に聞こえる場合があります。
- マイクを使う場合は、最高の音質が得られるように、出来るだけマイクに直接話しかけてください。
- 携帯電話の機能のいくつかは、お使いのサービスプロバイダーのネットワーク設定や能力に依存します。また、機能のいくつかは、お使いのサービスプロバイダーによって有効にされない場合があります。そして/または、プロバイダーのネットワーク設定により、機能が制限される場合があります。

- 機能の有効性と機能性については、お使いのサービスプロバイダーにご確認ください。
機能、機能性、その他の製品仕様、および取扱説明書に記載の情報はすべて、最新の入手可能な情報に基づいており、印刷の時点で正確と考えられているものです。
アルプスアルパイン株式会社は、いかなる情報や仕様についても、通知や義務なく変更または修正する権利を保有します。
- iPhone 6s以降の機種またはAndroid AutoアプリをインストールしたAndroidスマートフォンを接続した場合、操作画面が本セクションのものと異なる場合がありますのでご注意ください。

Bluetoothを使用する前に

ハンズフリー電話/オーディオ機能を使用する前に、以下の設定が必要です。

- 1 「Bluetooth」設定(17ページ)を【On】に設定する
- 2 本機にBluetooth機器を登録する(14ページ)

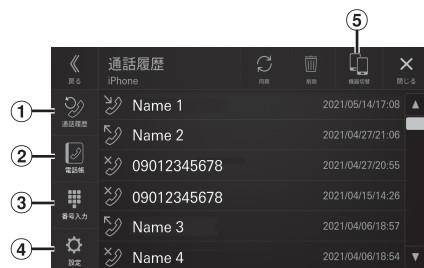
- Bluetooth対応機器を使って、本機をサーチすることができます。そして、そのBluetooth対応機器を本機に接続してください。本機の機器名は「DA7Z」「DAF9Z」「DAF11Z」、初期パスキーは「0000」です。接続する機器の取扱説明書もご参照ください。

ハンズフリー電話操作

- ② (電話)スイッチを押して、電話メニュー画面を表示します。



電話メニュー画面の例



- ① 通話履歴
通話履歴の電話番号、または電話帳の登録名が最近のものから最大90件表示できます。90件を超えると古いものから削除されます。
- ② 電話帳
電話帳から電話をかけたり、電話帳を編集したりできます。
- ③ 番号入力
電話番号を入力して電話をかけるときに使用します。
- ④ ハンズフリー設定メニュー画面(21ページ)を表示
- ⑤ 機器切替
ハンズフリー 1とハンズフリー 2を切りかえることができます。

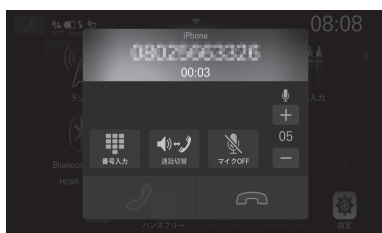
電話を受ける

1 着信すると、着信音が流れ着信画面が表示される



2 [📞]をタッチする

通話を開始します。



- 通話中は、本機の現在のモードの音声はミュートになります。通話終了後に再生が再開します。
- 本機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録しておくと、電話がかかってきたときに登録した名前、または電話番号が画面に表示されます(相手が電話番号を通知して発信した場合)。
- [🔇] (拒否) をタッチすると、着信を拒否します。
- [📞] をタッチすると、マイクをミュートにすることができます。ミュートモードを取り消すには、[📞] をタッチします。詳細は、「通話中の操作」(50ページ)を参照してください。
- Bluetooth機器を2台接続している場合、1台の電話が通話中に、もう1台に着信があった場合は、着信があったことを画面に表します。2番目の電話に出るには、1番目の電話を切った後に、本機画面の[📞] にタッチして電話に出ることができます。または、Bluetooth機器で直接電話にできます。

電話を切る

[🔇] (終了) にタッチする

通話を終了します。

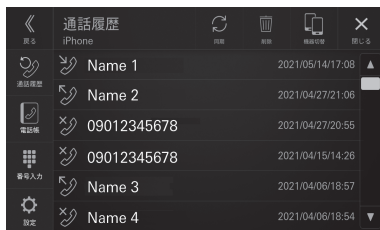
電話をかける

電話メニューを使って電話をかける

最近の通話記録から電話をかける

1 電話メニューの[通話履歴]にタッチする

通話履歴画面が表示されます。



2 電話をかけたい相手の名前か電話番号にタッチする

通話を開始します。

電話帳から電話をかける

1 電話メニューの[電話帳]にタッチする

電話帳画面が表示されます。



2 電話をかけたい相手の名前か電話番号にタッチする

詳細情報画面が表示されます。

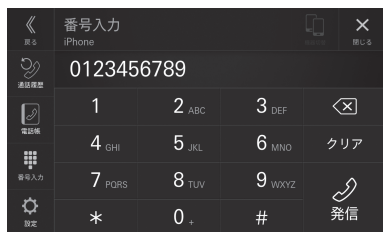
3 電話番号にタッチする

通話を開始します。

電話をかける番号を入力する

1 電話メニューの[番号入力]にタッチする

番号入力画面(キーボード)が表示されます。



- 入力した番号を削除するには[✕]タッチします。
- 入力した番号をすべて削除するには、[クリア]にタッチします。

2 電話をかけたい電話番号を入力する

- 40桁まで入力できます。

3 [📞]にタッチする

通話を開始します。

通話中の操作

通話中は下記の通話中画面が表示され、音量調整などを行うことができます。



① 名前または電話番号

- グループに登録されている場合は、グループ名も表示されます。ただし、接続している携帯電話によっては表示されない場合があります。

② 通話時間

送話音量を調整する

マイクレベルを調整できます。

[🔊]の[－]または[＋]をタッチする

音量は11段階で調整できます。

- 送話音量は、電話設定画面でも調整できます。詳しくは、「送話音量を調整する」(22ページ)を参照してください。

音声出力を変更する

通話の音声出力は、車のスピーカーと携帯電話のスピーカーの間で切りかえができます。

[🔊]または[🔊📞] (オレンジ) をタッチする

- 携帯電話によっては、この操作ができない場合があります。

マイクをミュートする

[🔇]にタッチする

- ミュートモードを解除するには、[🔇]をタッチします。

DTMF(タッチトーン)機能

通話中にDTMF(タッチトーン)信号を送信します。

1 [📞] (番号入力) をタッチする

番号入力画面が表示されます。

2 番号を入力する

- 通話中にタッチトーン信号を送信することができます。
- タッチトーン信号は聞こえません。

電話帳機能

■ 電話帳の表示例



電話帳を検索する

電話帳には効果的な検索のための50音検索機能が備わっています。この機能を検索モードで使用すると、発信したい連絡先の名前などをすばやく検索できます。

- 1 電話帳画面のスライダーバーに触れて指を上下にスライドさせ、対象文字にあわせる
- 2 電話をかけたい連絡先の名前をタッチする
詳細情報画面が表示されます。
- 3 電話番号をタッチする
通話を開始します。

電話帳と同期させる

本機の電話帳と携帯電話の電話帳を同期させることができます。

電話帳画面の[同期]をタッチする

電話帳の同期を開始します。

- 電話帳には最大2,000名の登録名を保存できます。
- 個人名1つにつき電話番号を5つまで保存できます。

電話帳を削除する

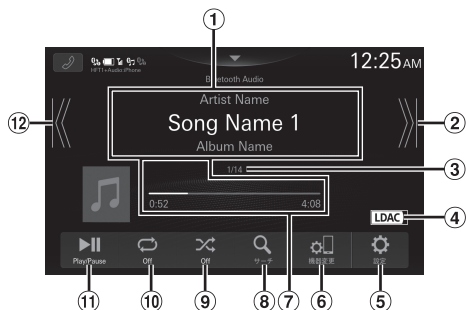
- 1 電話帳画面の[削除]をタッチする
確認画面が表示されます。
- 2 [OK]をタッチする
電話帳のすべての情報が削除されます。

Bluetoothオーディオ

Bluetooth対応携帯電話やポータブルプレーヤーなどがワイヤレスで接続されている場合、曲を再生することができます(本機から操作が可能です)。

- Bluetooth対応機器によって、操作は異なる場合があります。

■ Bluetoothオーディオメイン画面例



- ① インフォメーション表示
- ② アップスイッチ
次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。
- ③ 現在の曲番号/全曲数
- ④ オーディオコーデック情報(SBC/AAC/LDAC)
- ⑤ Bluetoothオーディオ設定メニュー画面(22ページ)を表示
- ⑥ 機器設定メニュー画面(13ページ)を表示
- ⑦ 経過時間/合計再生時間
- ⑧ サーチ画面を表示
- ⑨ シャッフルモード
- ⑩ リピートモード
- ⑪ 再生/一時停止
- ⑫ ダウンスイッチ
再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

- 画面に表示されるスイッチは、AVRCPのバージョンによって異なる場合があります。
- オーディオを再生するには、A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)またはAVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)に準拠した携帯電話またはポータブルプレーヤーが必要です。すべての機能がすべての機器で機能するわけではありません。
- 通話中、Bluetoothオーディオの音声は一時停止されます

対応するAVRCPのバージョン:1.6

- 使用できる機能は、AVRCPのバージョンによって異なる場合があります。

再生

1 (HOME)スイッチを押して、Bluetoothオーディオモードを選択する

Bluetoothオーディオモード画面が表示されます。

2 または をタッチして、希望の曲(ファイル)を選択する

現在(または直前)の曲(ファイル)の頭に戻る:

 をタッチする

早戻し:

 をタッチし続ける

次の曲(ファイル)の頭に進む:

 をタッチする

早送り:

 をタッチし続ける

-   スイッチでも早送りまたは早戻しができます。

3 再生を一時停止するには、 をタッチする 再度、 にタッチすると、再生を再開します。

リピート再生

 を繰り返しタッチして、リピート再生モードを選択する

File  : 現在再生中の曲のみを繰り返し再生します。

Group  : グループ内の曲のみを繰り返し再生します。

ALL  : すべての曲を繰り返し再生します。

Off  : リピート再生は無効です。

- 接続しているBluetooth対応機器によって動作が異なる場合があります。

シャッフル再生

 をタッチして、シャッフル再生モードを選択する

Group  : グループがランダムに選択され、グループ内の曲が順番に再生されます。グループ内ですべての曲が再生された後、次のグループがランダムに選択されます。

All Track  : すべての曲がランダムに再生されます。すべての曲が再生されるまで1回だけ再生されます。

Off  : シャッフル再生は無効です。

- 接続しているBluetooth対応機器によって動作が異なる場合があります。

希望のファイルをサーチする

1 (サーチ)をタッチする

2 希望のフォルダ名またはファイル名をタッチする

- フォルダ名を選択し、同じ手順を繰り返して別のフォルダ名やファイル名を選択してください。

Bluetooth機器を接続する

本機にBluetooth機器を登録すると自動接続が可能になります。

自動で接続されない場合は、接続手順を再度実行してください。

1 Bluetoothオーディオ画面で (機器変更)をタッチする

接続機器リスト画面が表示されます。

2 [接続]をタッチする

Bluetooth接続を開始します。

- 詳しくは、「接続機器リストに登録している機器を接続する」(14ページ)を参照してください。

Bluetoothの接続を切る

- 1 Bluetoothオーディオ画面で[

接続機器リスト画面が表示されます。

- 2 [接続解除]をタッチする

Bluetooth接続を切ります。

- ・詳しくは、「接続している機器を切断する」(14ページ)を参照してください。

接続するBluetooth 機器を切りかえる

複数のBluetooth 機器が本機に登録されている場合は、登録機器の中で接続を切りかえることができます。

- 1 Bluetoothオーディオ画面で[

接続機器リスト画面が表示されます。

- 2 接続機器リストから、接続したい機器の[接続]をタッチする

サービス選択画面が表示されます。

- 3 サービス選択画面から[Bluetooth Audio]を選択し、[OK]をタッチする

選択した機能にはチェックマークが表示されます。

選択した機器に接続が移行します。

- ・詳しくは、「接続機器リストに登録している機器を接続する」(14ページ)を参照してください。

外部入力機器(AUX)

警告

車中を運転中にドライバーがビデオを見るのは危険です。ドライバーの前方への注意がそがれ、事故に至るおそれがあります。

車両を停止しパーキングブレーキをかけている場合を除き、ドライバーがビデオを見ることができないように、本機を正しく設置してください。

本機を正しく設置していない場合、ドライバーが運転中にビデオを見ることが可能になり、前方への注意がそがれ、事故に至るおそれがあります。また、ドライバーや他の人々を巻き込み重傷を負うおそれがあります。

外部入力機器を操作する

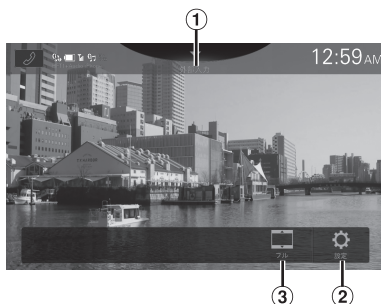
- 1  (HOME)スイッチを押して、外部入力モードを選択する

外部入力機器モード画面が表示されます。

- 2 再生中に画面をタッチし続ける

外部入力機器操作画面が約5秒間表示されます。

- ・安全のため、運転中は映像は表示されず、オーディオのみ聞こえます。
- ・外部機器の接続方法については、取付説明書を参照してください。



- ① 外部入力機器名
 - ・外部入力機器選択設定(20ページ)で設定した機器名称が表示されます。
- ② 外部入力機器設定メニュー画面(20ページ)を表示
- ③ 画面サイズの切りかえ

画面サイズを切りかえる

ビデオファイルの再生中に画面サイズを切りかえることができます。

画面サイズ切りかえスイッチを繰り返しタッチして画面サイズを選択する

フル → ノーマル → ワイド → フル

- 画面サイズ切りかえスイッチは、現在選択されているモードを表示します。
- 運転中は操作できません。

フル： ディスプレイのサイズに合わせて縦横にサイズが合うように画像が表示されます。

ノーマル： 4:3の映像を見るときに選択します。画面の両側に黒い帯が表示されます。

ワイド： 画像の上下を切り取り、画面全体に拡大表示します。

カメラ

別売のカメラを接続すると、カメラの映像をディスプレイに表示することができます。

本機には、リアカメラ、フロントカメラ、サイドカメラなどを接続できます。

接続しているカメラに合わせてカメラ選択を設定してください。詳しくは、「カメラ1(リアカメラ)設定」、「カメラ2設定」(23ページ)を参照してください。

別売のマルチインターフェースBOX(IFB-N200)を接続すると、フロントカメラ・リアカメラ・サイドカメラ・コーナーカメラ・ルームカメラを最大5台まで接続できます。別売のマルチインターフェースBOXを接続する場合は、「カメラインターフェースBOX設定」(24ページ)で接続したカメラを[On]に設定してください。

リアカメラ：

バックギアにシフトすると本機の画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド(車両の車幅や距離感覚を補う補助マーク)を映すことができます。

フロントカメラ：

見通しの悪い道路などで車両前方の状況を確認することができます。

サイドカメラ：

サイドカメラが接続されている場合は、路肩の状態を確認するのに便利です。

汎用カメラ：

フロントカメラまたはリアカメラ以外のカメラ(ルームカメラなど)に接続する場合に設定します。

カメラの画質を調整することができます。

設定項目：明るさ/色/コントラスト

「カメラの画質を調整する」(25ページ)を参照してください。

リアカメラ操作

警告

●警告

- 運転者は走行中に本機のカメラ画像を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。
- カメラをご使用の際は事故防止のため、カメラ画像だけでなく、必ず目視やルームミラー/ドアミラーにより、周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラ画像はドライバーの視界を補助するためのものであり、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。

●注意

- カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なるため、注意が必要です。
- 乗車人数や積載量により車両が傾き、カメラ映像のガイドの示す位置と実際の路面上の距離や障害物との距離が変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

車のシフトをバックギアに入れてリアカメラ映像を表示する

- シフトレバーをバックギア(R)位置にする
車が後退する間、リアビュー映像が表示されます。
 - シフトレバーをバックギア(R)以外の位置にする
前の画面に戻ります。
- リアカメラ映像のガイド調整をおこなうことができます。詳細は、「カメラガイドを調整する」(24ページ)を参照してください。

HOME画面からリアカメラの映像を表示する

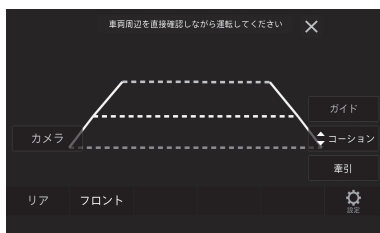
- Ⓢ (CAM)スイッチを押す
カメラ映像が表示されます。
- カメラ映像表示中に画面をタッチする
操作画面が表示されます。
- [リア]をタッチする
リアカメラ映像が表示されます。

- [X]にタッチすると前の画面に戻ります。

- リアカメラ映像のガイド調整をおこなうことができます。詳細は、「カメラガイドを調整する」(24ページ)を参照してください。

カメラガイド表示ON/OFF設定

- カメラ映像表示中に画面をタッチする
操作画面が表示されます。
 - 操作画面は約5秒で表示が消えます。再度表示させるには画面にタッチします。
- ガイドを消すには、[ガイド(オレンジ)]をタッチする
ガイドが消えると、[ガイド(オレンジ)]スイッチが[ガイド]に変わります。



- ガイドを表示するには、[ガイド]をタッチする

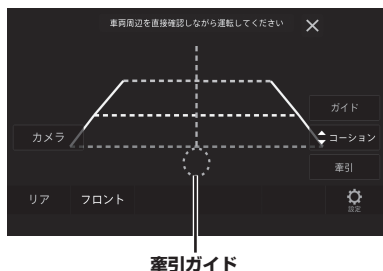
コーション表示位置の調整

- カメラ映像表示中に画面をタッチする
操作画面が表示されます。
 - 操作画面は約5秒で表示が消えます。再度表示させるには画面にタッチします。
- [コーション]をタッチする
タッチするたびに、コーション位置が画面の上下に移動します。

牽引ガイド表示ON/OFF設定

- カメラ映像表示中に画面をタッチする
操作画面が表示されます。
 - 操作画面は約5秒で表示が消えます。再度表示させるには画面にタッチします。

- 2 牽引ガイドを表示するには、**[牽引]**をタッチする
牽引ガイドが表示され、**[牽引]**スイッチが**[牽引(オレンジ)]**に変わります。



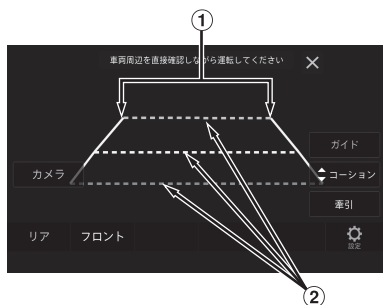
- 3 ガイドを消すには、**[牽引(オレンジ)]**をタッチする

リアカメラガイドについて

ガイドを表示するには、「カメラガイド表示ON/OFF設定」(55ページ)を**[On]**に設定してください。また、ガイドを調整するには、「カメラガイドを調整する」(24ページ)を参照してください。

■ ガイド線の見かた

車両のシフトレバーがバックギアに入ると、リアカメラ映像画面が表示されます。車幅とリアバンパーからの距離の視覚化を補助するガイドが表示されます。



- ① **車幅延長線(距離の順に赤、黄、緑)車幅を示します。**

車をまっすぐ後退させたいときの進路の目安を示します。

車の後部(バンパーの後端)からの距離を表します。

- ・ハンドルと連動して動きません。
- ・車幅に合うように設定します。

- ② **距離目安線**

車の後部(バンパーの後端)からの距離を表します。

- ・ハンドルと連動して動きません。
- ・水平面に駐車時に、実際の距離を測定することをお勧めします。

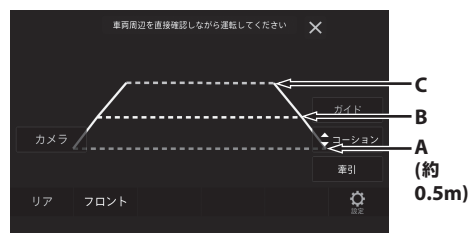
- ・車や路面の状況により映る範囲は異なることがあります。
- ・カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- ・映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- ・車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

■ 距離目安線

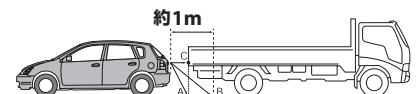
距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

以下の例では、Aまでの距離は0.5m、Bまでの距離は1mです。

<画面>



<A、B、Cの位置>



画面では距離目安線により約1m先(Bの位置)にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退するとぶつかります。画面ではA・B・Cの順に近く見えますが実際の距離はAとCは同じ距離で、BはAやCより遠い距離にあります。

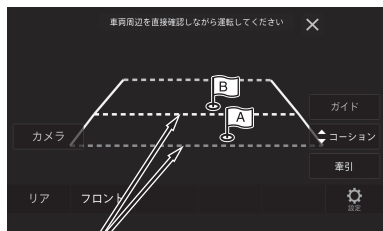
- ・車幅延長線は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し込まれた場合は実際の距離感とは異なります。

画面と実際の路面との誤差

以下の状態のときは画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます(イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します)。

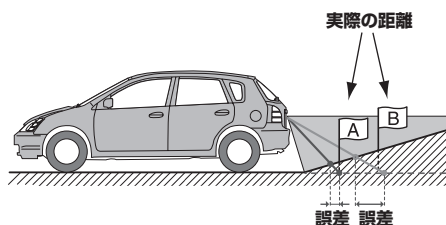
■ 急な上り坂が後方にあるとき(例)

<画面>



距離目安線

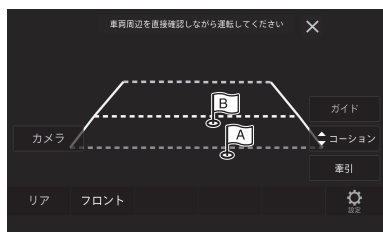
<車の状態>



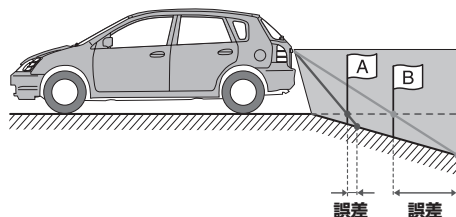
距離目安マークは平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安マークが表示されます。例えば上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■ 急な下り坂が後方にあるとき(例)

<画面>



<車の状況>



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安マークが表示されます。そのため下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

映像パターンを切りかえる(マルチビューカメラ接続時)

マルチビューリアカメラ接続時は、本機から映像パターンの切り換え操作を行うことができます。

1 カメラ映像表示中に画面をタッチする

操作画面が表示されます。

- 操作画面は約5秒で表示が消えます。再度表示させるには画面にタッチします。

2 [ビュー]をタッチする

3 [パノラマ][コーナー][トップ][バック]のいずれかをタッチする

画像パターンが切りかわります。

- マルチビューリアカメラ接続時は、映像パターンによってガイド線の表示のしかたが異なります。
- コーナー表示ではガイド線は表示されません。

フロントカメラ操作

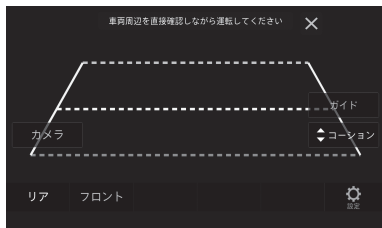
HOME画面からフロントカメラの映像を表示する

1 (CAM)スイッチを押す

カメラ映像が表示されます。

2 カメラ映像表示中に画面をタッチする

操作画面が表示されます。



3 [フロント]をタッチする

フロントカメラ映像が表示されます。

- [X]にタッチすると前の画面に戻ります。
- フロントカメラ映像のガイド調整を行うことができます。詳しくは、「カメラガイドを調整する」(24ページ)を参照してください。

フロントカメラの画像パターンを切りかえる

カメラにビュースイッチ機能がある場合は、ダイレクトチェンジスイッチが表示されます。

1 カメラ映像表示中に画面をタッチする

操作画面が表示されます。

- 操作画面は約5秒で表示が消えます。再度表示させるには画面にタッチします。

2 [ビュー]をタッチする

3 [パノラマ][コーナー][トップ]のいずれかをタッチする

画像パターンが切りかわります。

- コーナー表示ではガイド線は表示されません。

ガイド表示ON / OFF設定の調整と注意表示位置の調整について

リアカメラと同様に、フロントカメラガイド表示のON/OFF設定やコーション表示位置を調整できます。「カメラガイド表示ON/OFF設定」(55ページ)、「コーション表示位置の調整」(55ページ)を参照してください。

サイドカメラ操作

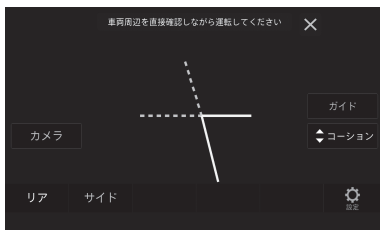
HOME画面からサイドカメラの映像を表示する

1 (CAM)スイッチを押す

カメラ映像が表示されます。

2 カメラ映像表示中に画面をタッチする

操作画面が表示されます。



3 [サイド]をタッチする

サイドカメラ映像が表示されます。

- [X]にタッチすると前の画面に戻ります。
- サイドカメラ映像のガイド調整を行うことができます。詳しくは、「カメラガイドを調整する」(24ページ)を参照してください。

ガイド表示ON / OFF設定の調整と注意表示位置の調整について

リアカメラと同様に、サイドカメラガイド表示のON/OFF設定やコーション表示位置を調整できます。「カメラガイド表示ON/OFF設定」(55ページ)、「コーション表示位置の調整」(55ページ)を参照してください。

コーナーカメラ操作

HOME画面からコーナーカメラの映像を表示する

- 1  (CAM)スイッチを押す
カメラ映像が表示されます。
- 2 カメラ映像表示中に画面をタッチする
操作画面が表示されます。



- 3 [コーナー]をタッチする
コーナーカメラ映像が表示されます。
- [X]にタッチすると前の画面に戻ります。

ルームカメラ操作

HOME画面からルームカメラの映像を表示する

- 1  (CAM)スイッチを押す
カメラ映像が表示されます。
- 2 カメラ映像表示中に画面をタッチする
操作画面が表示されます。



- 3 [ルーム]をタッチする
ルームカメラ映像が表示されます。
- [X]にタッチすると前の画面に戻ります。

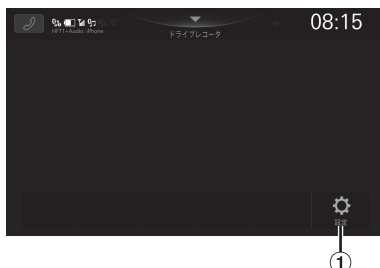
ドライブレコーダー

ドライブレコーダーを操作する

別売のドライブレコーダーを接続することで、ドライブレコーダーからの映像を表示することができます。

- ドライブレコーダーメニューの設定を[On]にすると、HOME画面に[ドライブレコーダー]スイッチが表示されます。詳しくは、「ドライブレコーダー設定」(22ページ)を参照してください。

- 1  (HOME)スイッチを押して、ドライブレコーダーモードを選択する
ドライブレコーダー映像画面が表示されます。
- 2 ドライブレコーダー映像表示中に画面をタッチし続ける
操作画面が表示されます。



- ① ドライブレコーダー設定メニュー画面を表示します(22ページ)
- ドライブレコーダー画面表示を終了するときは、ソースを変更してください。

製品のソフトウェアについて

ソフトウェアに関する重要な情報

本製品のソフトウェアライセンスについて

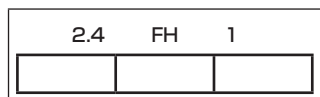
製品にインストールしているソフトウェアは、オープンソースソフトウェアを含みます。

詳細は、本機の「オープンソースライセンス」画面をご参照ください。「ソフトウェアライセンスを表示する」(31ページ)をご参照ください。

電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、アルパイン インフォメーションセンターまでご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えばパーティションの設置など)についてご相談してください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、アルパイン インフォメーションセンターへお問い合わせください。



- ① 「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します
- ② 「FH」変調方式を表します
- ③ 「1」想定される干渉距離(約10m)を表します

対応フォーマットについて

MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV/APEについて



警告

個人的な使用を除き、有償無償に関わらず、著作権所有者の許可なく、オーディオデータ(MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV/APEデータを含む)の複製または配布、譲渡、またはコピーをすることは、著作権法および国際協定により厳しく禁止されています。

MP3とは？

「MPEG Audio Layer 3」を公式名称とするMP3は、ISO(国際標準化機構)およびIECの共同活動機関であるMPEGによって規定された圧縮規格です。

MP3ファイルは、圧縮されたオーディオデータを含んでいます。MP3符号化処理は、非常に高い比率でオーディオデータを圧縮することができ、音楽ファイルのサイズを元のサイズの10分の1にまで減らすことができます。また、CDに近い質を維持しながらそれを実現します。MP3フォーマットは、人間の耳には聞きとれない、あるいは他の音に隠れる音を取り除くことによって、高い圧縮率を実現します。

WMAとは？

WMAまたは「Windows Media™ Audio」は、音声データを圧縮する方式です。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約半分)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにCD同等の音質を保ちます。

AACとは？

AACは「Advanced Audio Coding」の省略形で、MPEG2やMPEG4で使用される基本的なオーディオ圧縮フォーマットです。

FLACとは？

FLAC(Free Lossless Audio Codec)は、ロスレス圧縮のためのオーディオファイルコーデックで、オープンソースソフトウェアとして開発、提供されています。MP3やAACなどの不可逆圧縮形式のコーデックは、圧縮効率を上げるためにデータを部分的に縮小します。しかしFLACは、不可逆圧縮をおこなうことで元のデータと同一の複製物になるように、圧縮データを再構築できます。FLACの圧縮率は、約50%です。

WAVとは？

Windowsで使われる標準音声形式。圧縮する前の元形式になります。圧縮されていないので、CDとほぼ同じ音質で音楽を楽しめます。WAVEとも呼ばれます。

APEとは？

APEは可逆圧縮というフォーマットの一つで、デコードすると元の品質に戻ることができるという特徴を持っています。主にMonkey's Audioというアプリケーションで使われています。

MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV/APE(USBメモリー) ファイルの作成方法

オーディオデータは、MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV/APE(USBメモリー)のコーデックをもつソフトウェアを使って圧縮されます。

MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV/APE(USBメモリー)ファイルの作成についての詳細は、そのソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

本機で再生可能なMP3/WMA/AAC/FLAC/WAV/APE(USBメモリー)ファイルには、以下のファイル拡張子がついています。

MP3:「mp3」

WMA:「wma」

AAC:「m4a」

FLAC:「flac」/「fla」

WAV:「wav」

APE:「ape」

WMAは、Windows Media Audio Professional、Windows Media Audio 10 std、Windows Media Audio 10 Pro Losslessなどのファイルには対応されません。

AACフォーマットには多くの異なるバージョンがあります。使用されているソフトウェアが上記の許容できるフォーマットに準拠していることを確認してください。拡張子が正しくてもフォーマットが再生できない場合があります。

iTunesで符号化されたAACファイルの再生には対応しています。

対応する再生サンプリングレートとビットレート

MP3(USBメモリー)

サンプリングレート: 8kHz、11.025kHz、12kHz、16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

ビットレート: 8～320kbps

WMA(USBメモリー)

サンプリングレート: 8～48kHz

ビットレート: 8～384kbps

AAC(USBメモリー)

サンプリングレート: 8～48kHz

ビットレート: 8～384kbps

FLAC(USBメモリー)

サンプリングレート: 8～96kHz

WAV(USBメモリー)

サンプリングレート: 8～96kHz

APE(USBメモリー)

サンプリングレート: 8～48kHz

- サンプリングレートによっては、本機は正しく再生できない場合があります。

ID3タグについて

本機はID3タグに対応しています。

タグ情報が付与されているMP3/WMA/AAC/FLAC/WAV/APEファイルでは、タイトル名(曲名)・アーティスト名・アルバム名の情報を表示できます。

タグ情報によっては、文字数が制限されたり、正しく表示されなかったりする場合があります。

MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV/APEを再生する

MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV/APEを準備し、USBメモリーに書き込みます。

- 再生可能なファイル/フォルダの最大数USBメモリー: 10,000ファイル/フォルダ(ルートフォルダ含む)
- 再生可能ファイルの最大サイズ: 512MB
ディスクが上記の制限を超える場合、再生されない場合があります。
ファイル/フォルダ名が長い場合、再生可能なファイルの最大数が少なくなる場合があります。
- オーディオおよびビデオファイルフォーマットが本機で再生可能な場合、両方のファイルがカウントされます。

対応するメディア

本機で再生可能なメディアは、USBメモリーです。

対応するファイルシステム

本機は、FAT16/32に対応しています。

フォルダの階層は最大8個です(ルートディレクトリを含む)。ファイル名は256文字までに制限されます(拡張子を含む)。

フォルダ/ファイル名に有効な文字は、A～Z(すべて大文字)のアルファベット、0～9の数字、および「_」(アンダーバー)です。

用語

ビットレート

符号化に指定される「音」の圧縮率です。ビットレートが高くなるほど、音質は向上しますが、ファイルサイズも大きくなります。

サンプリングレート

1秒あたりのデータのサンプリング(記録)回数を示します。

例えば、音楽CDは44.1kHzのサンプリングレートを使用するので、1秒あたりに音が44,100回サンプリング(記録)されるということです。サンプリングレートが高くなるほど、音質は向上しますが、データ量も大きくなります。

符号化

音楽CD、WAVE(AIFF)ファイル、その他の音楽ファイルを指定されたオーディオ圧縮フォーマットに変換します。

タグ

MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV/APE(USBメモリー)ファイルに書き込まれた曲のタイトル、アーティスト名、アルバム名などの情報です。

ルートフォルダ

ルートフォルダ(またはルートディレクトリ)は、ファイルシステムの頂点にあります。ルートフォルダは、すべてのフォルダとファイルを含んでいます。焼いたディスクすべてに自動で作られます。

トラブルシューティング

問題が見つかったときは、電源を入れ直してください。それでも本機が正常に機能しない場合は、以下のチェックリスト項目を確認してください。本機に不具合がある場合、本ガイドがその問題を特定するのに役立ちます。それ以外の場合は、システムの他の部分が適切に接続されていることを確認し、お買い上げ店またはお近くのお問い合わせ窓口(裏表紙)までご相談ください。

全般

機能しない、表示されない

- 車両のイグニッションがOFFになっている。
 - 指示にしたがって接続した場合、車両のイグニッションがOFFの状態では本機は動作しません。
- 電源コードの接続が不適切である。
 - 電源コードの接続を確認してください。
- ヒューズが切れる。
 - 本機のバッテリー線のヒューズを確認し、必要に応じて適切な数値のものに取り換えてください。

音がでない、音が不自然

- 音量/バランス/フェダーの設定が不適切である。
 - 設定を再調整してください。
- 接続が不適切、またはしっかりとされていない。
 - 接続を確認し、しっかりと接続してください。

画面が表示されない

- 明るさ/コントラストの設定が最小値に設定されている。
 - 明るさ/コントラストの設定を調整してください。
- 車両の温度が低すぎる。
 - 車内の温度を操作温度の範囲に上げてください。
- HDMI、外部入力機器への接続がしっかりとされていない。
 - 接続を確認し、しっかりと接続してください。
- パーキングブレーキ信号線が接続されていない。
- パーキングブレーキがかかっていない。
 - パーキングブレーキ信号線を接続し、パーキングブレーキをかけてください。

表示された画像の動きが正常でない

- 車内の温度が高すぎる。
 - 車内の温度を冷やしてください。

ラジオ

放送を受信できない

- アンテナがない、アンテナケーブルが接続されていない。
 - アンテナが適切に接続されていることを確認し、必要であればアンテナまたはケーブルを取り換えてください。

シークモードで放送局に合わせることができない

- 信号の弱いエリアにいる。
 - チューナーがSeekモードになっていることを確認してください。
- アンテナの長さが適切でない可能性がある。
 - アンテナを完全に延ばしているかを確認し、損傷している場合は新しいアンテナと取り換えてください。

放送にノイズが入る

- アンテナの長さが適切でない。
 - アンテナを完全に延ばし、損傷している場合は取り換えてください。
- アンテナが正しく接地されていない。
 - アンテナが取り付け場所に適切に接地されていることを確認してください。
- 放送信号が弱くノイズが入る。
 - 上記の方法で解決できない場合は、別の放送局に合わせてください。

USB オーディオ

本機が動作しない

- 結露がある。
 - 結露が乾くまで、しばらく(1 時間程度)待ってください。

画像が不鮮明でノイズが入る

- 車両のバッテリーパワーが弱い。
 - バッテリーパワーと配線を確認してください。
(負荷をかけた状態で、バッテリーパワーが11ボルトを下回る場合は、本機が故障する場合があります。)

ハンズフリー電話

着信音量が小さい

- 電話機によっては、着信音の音量が小さい場合がありますが、故障ではありません。

こんなメッセージが表示されたら

操作中は、様々なメッセージが画面に表示されます。現在の状況を知らせたり、次の操作のガイダンスを提供したりするメッセージに加えて、以下のエラーメッセージもあります。これらのエラーメッセージが表示された場合は、解決方法の欄の指示にしたがってください。

システム

走行中は安全のため操作できません

- 車両の走行中に、設定操作などをおこなった。
 - 車両を安全な場所に移動し、停止させ、パーキングブレーキをかけます。その後、この操作をおこなってください。

USB HUBはサポートされていません

- ハブ付きのUSBメモリーを接続している。
 - ハブ付きのUSBメモリーから再生することはできません。USBハブの接続には対応していません。

オーディオ/ビジュアル

接続されたUSB機器は使用できません

- 本機が対応していないiPhoneが接続されている。
 - 本機が対応しているiPhoneを接続してください。
- 本機が対応していないUSB機器が接続されている。
 - 別のUSBメモリーを接続してください。
- 通信エラーになる。
 - イグニッションキーをOFFにし、再度ONにしてください。
 - iPhoneのケーブルを使って、iPhoneと本機を再接続し、表示を確認してください。
 - USBメモリーと本機を再接続し、表示を確認してください。
- iPhoneのソフトウェアバージョンが本機に対応していないことが原因。
 - iPhoneのソフトウェアバージョンが本機に対応するようアップデートしてください。
- iPhoneが確認されない。
 - 別のiPhoneに変更してください。

HDMI

HDMI外部機器との通信ができません

機器との接続確認または映像の出力操作を行ってください

- HDMI機器が正しく接続されていません。
 - HDMI機器を本機から取り外して、再接続してください。HDMI機器で出力設定を行ってください。

HDMIモニターとの通信ができません

モニターとの接続確認またはエンジンをOFF/ONしてください

• 接続エラー

- イグニッションキーをOFF/ONするか、本機のHDMI接続ケーブルを確認してください。

仕様

モニター部

画面サイズ	7インチ (DA7Z) 9インチ (DAF9Z) 11インチ (DAF11Z)
オペレーションシステム	TFTアクティブマトリックス方式
画素数	2,764,800 (1280×720×RGB)
有効画素数	99%以上
カラーシステム	NTSC/PAL
光源システム	LED

FMチューナー部

同調範囲	76.0 ~ 108.0MHz
モノラル実用感度	9.3dBf(0.8 μ V/75 Ω)
50dB Quieting Sensitivity	13.5dBf(1.3 μ V/75 Ω)
オルタネイトチャンネル選択度	80dB
S/N比	65dB
ステレオセパレーション	35dB

AMチューナー部

同調範囲	522 ~ 1,629kHz
実用感度	25.1 μ V/28dBf

USB1部

USB要件	USB 2.0
最大消費電力	2,400mA
USBクラス	USB(マストレージクラス)
ファイルシステム	FAT16/32、exFAT
チャンネル数	2チャンネル(ステレオ)
周波数特性 ^{※1}	5 ~ 40,000Hz(±1 dB)
全高調波歪み	0.005%(1kHz時)
ダイナミックレンジ	95dB(1kHz時)
S/N比	95dB
チャンネルセパレーション	90dB(1kHz時)

※1 周波数特性は、エンコーダソフトウェア/ビットレートにより異なる場合があります。

USB2部

USB要件	USB 2.0
最大消費電力	1,500mA(CDP対応)
USBクラス	USB(マストレージクラス)
ファイルシステム	FAT16/32、exFAT
チャンネル数	2チャンネル(ステレオ)
周波数特性 ^{※1}	5 ~ 40,000Hz(±1 dB)

全高調波歪み 0.005%(1kHz時)
 ダイナミックレンジ 95dB(1kHz時)
 S/N比 95dB
 チャンネルセパレーション 90dB(1kHz時)

※1 周波数特性は、エンコーダソフトウェア/ビットレートにより異なる場合があります。

HDMI部

入力フォーマット 720p/480p/VGA
 出力フォーマット 720p/480p

Bluetooth部

Bluetooth仕様 Bluetooth V4.2
 出力電力 +4.0dBm/2.51mW Ave.
 (電力クラス2)
 プロファイル HFP(ハンズフリープロファイル)
 OPP(オブジェクトプッシュプロファイル)
 PBAP(電話帳アクセスプロファイル)
 SPP(Serial Port Profile)
 A2DP(進化した音楽配信プロファイル)
 AVRCP(オーディオ/ビデオリモート制御プロファイル)

GPS部

受信周波数 1575.42 + / - 1.023MHz
 受信感度 (サーチ) 最大-136dB

Wi-Fi部

Frequency Ranges IEEE 802.11 b/g/n(2.4GHz)
 チャンネル 1 ~ 13ch(2.4GHz)
 セキュリティプロトコル WPA3/WPA2-PSK(TKIP, AES)

一般

電源電圧 DC14.4V(動作範囲11 ~ 16V)
 動作温度 -20℃ ~ +60℃
 出力 50W×4
 最大消費電流 15A
 プリアウト出力(音声最大出力レベル)
 フロント、リア:4V/10kΩ
 サブウーファー:4V/10kΩ

重量 1.4kg(DA7Z)
 2.3kg(DAF9Z)
 2.6kg(DAF11Z)

シャーシ寸法(幅×高さ×奥行)

	DA7Z	DAF9Z	DAF11Z
幅	178mm	178mm	178mm
高さ	50mm	50mm	50mm
奥行	149.6mm	149.6mm	149.6mm

ディスプレイ寸法(幅×高さ×奥行)

	DA7Z	DAF9Z	DAF11Z
幅	171mm	232.5mm	268.9mm
高さ	96mm	151.1mm	178mm
奥行	17.7mm	54.7mm	54.7mm

- ・製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があり得ますので、あらかじめご了承ください。

MEMO

[illegible]

MEMO

This image shows a single page of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

- 仕様および外観は改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは撮影・印刷条件により実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談/お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

< 製品ご相談窓口 > (2023 年 4 月現在)

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

< 電話でのお問い合わせ >

TEL: 0570-006636

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。(携帯電話・PHS: 20秒10円)

※ 一部IP電話など接続できない場合には、次の番号をご利用ください。

03-6704-4926または03-6747-4221

< メールでのお問い合わせ >

ホームページのお問い合わせフォームより受け付けています。

< FAXでのお問い合わせ >

FAX: 045-522-8700



< LINEでのお問い合わせ >

「友だち追加」から友だち追加できます。

※ LINEアカウントをお持ちでない場合には、LINE会員登録が必要になります。



- 電話受付時間(土、日、祝日、弊社休業日を除く)
月～金: 9:30 ~ 17:30
- アルパインホームページ <https://www.alpine.co.jp>
アルパイン製品に関してのご質問と回答をご紹介します。

< 修理ご相談窓口 >

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス (株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒 331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス (株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒 564-0044 大阪府吹田市南金田 1-5-7	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県